テクニカル ホワイトペーパー

HP コマーシャル PC BIOS (UEFI) セットアップ

管理者ガイド

ビジネス ノートブック PC およびデスクトップ PC
2015 年以降のモデル向け

2017 年 7 月

目次

1 概要 5

2 はじめに 6

2.1 サポートモデル 6

2.2 2016 年モデルの新機能 10

3 F10 メインメニュー 11

3.1 メインメニュー 12

3.2 システム BIOS のアップデートメニュー 14

3.3 BIOS Update Preferences メニュー 15

3.4 Network Configuration Settings メニュー 17

3.5 システム ID メニュー 18

3.6 日付と時刻の設定 19

4 セキュリティメニュー 20

4.1 パスワードポリシー メニュー 24

4.2 TPM 内蔵セキュリティ メニュー 26

4.3 BIOS Sure Start メニュー 28

4.4 スマートカバー メニュー（デスクトップのみ） 30

4.5 ハード ドライブ ユーティリティ メニュー 31

4.6 DriveLock メニュー 32

5 詳細設定 メニュー 34

5.1 詳細設定 メニュー 35

5.2 表示言語 メニュー 37

5.3 スケジュールされた電源投入 メニュー 38

5.4 ブート オプション メニュー 38

5.5 セキュア ブートの構成 メニュー 42

5.6 システム オプション メニュー 44

5.7 内蔵デバイス オプション メニュー 48

5.8 ポート オプション メニュー 53

5.9 オプション ROM の起動ポリシー メニュー 56

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P..

5.10 Power Management Options メニュー 57
5.11 Remote Management Options メニュー (Intel のみ) 59
5.12 Host Based MAC Address メニュー (ノートのみ) 61

6 UEFI Drivers 62

7 F10 メニュー以外の機能 63

8 コンピューターからの通知 64
8.1 はじめに 64
8.2 点滅とビープコード 65
8.3 ポップアップメッセージ 66

9 付録 1 67
9.1 UEFI とは? 67
9.2 はじめに 67
9.3 UEFI の利点 67
9.4 UEFI ブートプロセスの概要 67

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P..

表の一覧

表 1 ノート PC のジェネレーション 6
表 2 デスクトップ PC のジェネレーション 7
表 3 2014 年から追加されたモデル 9
表 4 メイン メニューの機能 12
表 5 システム BIOS のアップデートメニューの機能 14
表 6 BIOS Update Preferences Menu の機能 15
表 7 Network Configuration Settings メニューの機能 17
表 8 システム ID メニューの機能 18
表 9 日付と時刻の設定メニューの機能 19
表 10 セキュリティ メニューの機能 21
表 11 パスワードポリシーメニューの機能 24
表 12 TPM 内蔵セキュリティ メニューの機能 26
表 13 BIOS Sure Start メニューの機能 28
表 14 スマートカバー メニューの機能 30
表 15 ハード ドライブ ユーティリティ メニューの機能 31
表 16 DriveLock メニューの機能 32
表 17 詳細設定 メニューの機能 35
表 18 表示言語 メニューの機能 37
表 19 スケジュールされた電源投入 メニューの機能 38
表 20 ブート オプション メニューの機能 38
表 21 セキュア ブートの構成 メニューの機能 42
表 22 システム オプション メニューの機能 44
表 23 内蔵デバイス オプション メニューの機能 48
表 24 ポート オプション メニューの機能 53
表 25 オプション ROM の起動ポリシー メニューの機能 56
表 26 Power Management Options メニューの機能 57
表 27 Remote Management Options メニューの機能 59
表 28 Host Based MAC Adress メニューの機能 61
表 29 F10 メニュー以外の機能 63
表 30 コンピューターの通知 65
表 31 ポップアップ メッセージ 66

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P..

1 概要

HP は 2015 年モデルの PC から最新の CPU とオペレーティングシステムをサポートするために BIOS を再デザインしました。HP はこの機会に UEFI バージョン 2.4 の仕様に基づきノート PC とデスクトップ PC の両方をサポート可能な共通のコアモジュールによる新しい BIOS アーキテクチャを作成しました。これによりこの世代の BIOS を使用する HP のノート PC とデスクトップ PC の F10 セットアップメニューは同じ操作感を持ち、従来の BIOS と比べて共通の機能が増えています。

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

2 はじめに

本資料では F10 BIOS セットアップメニューから設定可能な機能（項目）の詳細情報を説明します。コンピューターからの通知のセクションでは LED ランプの点滅コードと画面に表示されるメッセージについて説明します。

HP では数十年もの間、Read Only　Memory Basic Input/Output System (ROM BIOS)を通じて業界最先端レベルの価値を顧客に提供して来ました。ROM BIOS と は PC にオペレーティングシステムをロードし、ストレージドライブ、キーボード、ディスプレイ、スロット、ポートなどの様々なデバイスと通信するためのルーチンの集合体です。HP の BIOS はファームウェアと HP Client Security、HP Power Assistant、HP Client Management Solutions などの HP プロフェッショナルイノベーションとの高度なインテグレーションを確かなものにします。

現在、HP のノート PC とデスクトップ PC で共通の操作感の BIOS が開発されました。デスクトップ PC の BIOS ではノート PC の BIOS のユーザーインターフェースと同じようにマウスによる操作が可能になりました。ユーザーが新しい機能を理解しやすいように、各機能の説明には（以前のバージョンと異なる場合）以前のバージョンの BIOS での名前と場所を記載しています。

本資料に記載されている BIOS の設定項目は全ての機種において利用可能という訳ではありません。お使いの PC の機種によっては利用できない BIOS 設定項目もあります。

2.1 サポートモデル

本資料は 2015 年モデルの HP コマーシャル　ノート PC およびデスクトップ PC に対応しています。

前述の通り、BIOS セットアップメニューは前の年のモデルかが大幅に変更されています。ご参考までに、以下の表は特定のモデルに関連付けされた年を示しています。以下の機能説明では 2014 年モデルへの参照は 2014 年モデルおよびそれ以前のモデルに適用可能です。

表 1 ノート PC のジェネレーション

プラットフォーム		2013	2014	2015	2016
HP EliteBook Folio	9480m		x		
HP EliteBook Folio	1040		G2	G3	
HP EliteBook Folio	1020		G1		
HP ZBook	17	x	G2	G3	G4
HP ZBook	15	x	G2	G3	G4
HP ZBook	14	x	G2		
HP ZBook	15u		G2	G3	G4
HP EliteBook	850	G1	G2	G3	G4
HP EliteBook	840	G1	G2	G3	G4
HP EliteBook	820	G1	G2	G3	G4
HP EliteBook	755		G2	G3	G4
HP EliteBook	745		G2	G3	G4
HP EliteBook	725		G2	G3	G4
HP ProBook	470		G2	G3	G4

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

プラットフォーム		2013	2014	2015	2016
HP ProBook	450		G2	G3	G4
HP ProBook	440		G2	G3	G4
HP ProBook	430		G2	G3	G4
HP ProBook	445		G2	G3	
HP EliteFolio	940	x			
HP EliteBook Folio				G3	
HP EliteBook	Revolve 810			G3	
HP ProBook				G2	
HP ZBook Studio				G3	G4
HP ProBook	455			G3	G4
HP ProBook	640				G3
HP ProBook	645				G3
HP ProBook	650				G3
HP ProBook	655				G3
HP Pro	x2 612				G2
HP ZBook	x2				G4
HP EliteBook	x360 1020				G2
HP EliteBook	x360 1030				G2
HP Elite	x2 1012				G2

表 2 デスクトップ PC のジェネレーション

プラットフォーム		2014	2015	2016
HP EliteDesk	800 TWR		G2	G3
HP EliteDesk	880 TWR		G2	G3
HP EliteDesk	800 SFF		G2	G3
HP EliteDesk	800 DM (35W)	G1	G2	G3
HP EliteDesk	800 DM (65W)		G2	G3
HP EliteOne	800 AiO 23 T & NT (GPU down)		G2	G3
HP EliteOne	800 AiO 23 T	G1	G2	G3
HP EliteOne	800 AiO 23 NT		G2	G3
HP EliteDesk	705 MT	G1	G2	G3
HP EliteDesk	705 SFF	G1	G2	G3
HP EliteDesk	705 DM	G1	G2	G3
HP EliteOne	705 AiO 23 T (23 NT dropped)	G1	G2	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

HP ProDesk	600 MT	G1	G2	G3
HP ProDesk	680 MT		G2	G3
HP ProDesk	600 SFF		G2	G3
HP ProDesk	600 DM	G1	G2	G3
HP ProOne	600 AiO 21.5 T (EMEA only)		G2	
HP ProOne	600 AiO 21.5 NT		G2	G3
HP ProDesk	400 SFF (2x2)	G2	G2.5	G4
HP ProDesk	400 MT	G2	G3	G4
HP ProDesk	480 MT	G2	G3	G4
HP ProDesk	490 MT	G2	G3	
HP ProDesk	498 MT	G2	G3	
HP ProDesk	400 DM		G1	
HP ProDesk	400 DM		G2	G3
HP ProDesk	400 AiO 20 T/NT		G2	G3
HP ProDesk	460/480 AiO 20 T/NT		G2	G3
HP 280	280 SFF			G2
HP 406				G1
HP Elite Slice				G1
HP Thin Client t530				X

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

表 3 2014 年から追加されたモデル

Platforms		**2014**
HP EliteOne	800 AiO 21.5 NT	G1
HP EliteDesk	705 MT	G1
HP EliteDesk	700 SFF	G1
HP EliteDesk	700 MT	G1
HP ProDesk	405 MT	G1
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	405 MT	G2
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	405 MT	G2
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	400 MT	G2
HP ProDesk	400 SFF	G2
HP ProOne	400 AiO 19.5 NT	G2
HP ProOne	400 AiO 21.5 T	G2
HP ProOne	400 AiO 21.5 T	G2
HP 402 SFF		G1
HP 406 MT		G1
HP 18 AiO Business		

本資料は 2015 年から 2016 年に導入された N と P ファミリーの BIOS の製品に対応しています。

N ファミリーの BIOS は N から始まるバージョンです。例：“N01 ver. 02.04 10/12/2015.”
P ファミリーの BIOS は P から始まるバージョンです。例：“P81 ver. 01.01 11/20/2016.”

お使いの製品がこの資料に対応しているかどうかは F10 セットアップメニューを表示する事で簡単に確認する事ができます。新 BIOS では以下の 4 つのタブが表示されます。

- メイン（Main）
- セキュリティ（Security）
- 高度な（Advanced）
- UEFI ドライバー（UEFI Drivers）.

UEFI ドライバー（UEFI Drivers）タブは新しく追加された項目です。

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

2.2 2016 年モデルの新機能

以下に 2016 年モデルの主要な新機能を紹介します。一部の機能はプラットフォームに依存します。

- [Sure Start]による BIOS 設定の保護（Sure Start BIOS Settings Protection）
- [Sure Start]のセキュリティイベントポリシー（Sure Start Security Event Policy）
- プライバシーパネル（Privacy Panel）
- 自動ドライブロック（Automatic DriveLock）
- ホストベース MAC アドレス（Host Based MAC Address）
- システムのハードドライブの GPT の保存/復元（Save/Restore GPT of System Hard Drive）
- カスタムのセキュアブートキーのインポート（Import Custom Secure Boot Keys）
- デバイスガード（Device Guard）
- 日付と時刻の変更（Change Date and Time）

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

3 F10 メインメニュー

メイン（Main）	セキュリティ（Security）	詳細設定（Advanced）	UEFI ドライバー（UEFI Drivers）	

HP Computer Setup

本セクションの構造:

目次の階層は、現在 3 階層の F10 セットアップメニューにあるメニューの順番と同じです。

一番上の階層のタブは: メイン（Main）、セキュリティ（Security）、詳細設定（Advanced）、UEFI ドライバー（UEFI Drivers）です。

次の階層はこれらのタブの下にあるメニューです。

メジャーセクションの冒頭には各タブのサブメニューアイテムの表が書かれています。表には各メニューの機能の一覧が表示されています。
表の上部には階層構造の中でのメニューの位置が記載されています。

詳細設定（Advanced） ->ポート オプション（Port Options）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記

テーブルには「機能」、「タイプ」、「説明」、「初期値」、「注記」の列があります。以下はそれぞれの項目の説明または定義です。

機能
セットアップメニューに表示される設定項目の名前です。

タイプ
機能を「Setting」、「Action」、「Menu」、「DisplayOnly」のタイプに分類します。ほとんどの機能が「設定」になります。「Setting」はユーザーがチェックボックス、ドロップダウンメニューまたはテキストボックスなどで設定変更可能なシステム値です。

説明
その機能がドロップダウンボックスを表示するタイプの場合、選択可能な項目を表示します。その機能が新規に追加されたものや以前の BIOS から名前や場所が変更されている場合、以前の名前や場所を説明します。ユーザーがその機能にアクセスするために選択しないといけないメニューを記述します。
例：メニュー 1->メニュー 2->機能 X の表記は、機能 X にアクセスするためにはメニュー1 とメニュー2 を経由する事を表しています。

初期値
工場出荷時の初期設定値を表します。

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

注記
一部の機能はすべてのタイプのモデルで利用可能ではありません。注記にはその機能が Intel のみ、AMD のみ、ノート PC のみ、デスクトップ PC のみを記述します。

一部のアクションは再起動や物理的プレゼンスを必要とします。 物理プレゼンスはアクションを完了する前にユーザーが物理的にその場所にいる事を確認するためのユーザーの応答を要求するメニューです。物理プレゼンスを要求するアクションはセキュリティの設定変更です。

- ⇨ システム情報（**System Information**）
- ⇨ システム診断（**System Diagnostics**）
- ⇨ システム BIOS のアップデート（**Update System BIOS**）

- ⇨ 日付と時刻の設定（**Change Date and Time**）
- ⇨ システム ID（**System IDs**）

- ⇨ 複製されたセットアップ（**Replicated Setup**）
- ⇨ カスタムの初期設定の保存（**Save Custom Defaults**）
- ⇨ カスタムの初期設定を適用して終了（**Apply Custom Defaults and Exit**）
- ⇨ 工場出荷時の設定を適用して終了（**Apply Factory Defaults and Exit**）
- ⇨ 変更を無視して終了（**Ignore Changes and Exit**）
- ⇨ 変更を保存して終了（**Save Changes and Exit**）

3.1 メインメニュー

次の表はメインメニューの機能について説明します。

表 4 メインメニューの機能

メイン（Main）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
システム情報 （System Information）	Menu	シリアル番号、モデル番号、CPU タイプ、メモリ構成などのシステム情報 2014 デスクトップ: ファイル -> システム情報		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

システム診断 （System Diagnostics）	Menu	システムテスト、コンポーネントテストなどのシステムの診断テストを実行するためのアプリケーションを起動します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
システム BIOS のアップデート（Update System BIOS）	Menu	ハードドライブの FAT 32 パーティション、USB フラッシュドライブ、またはネットワークから BIOS ファームウェアをアップデートします。 2014 デスクトップ: ファイル -> フラッシュ システム ROM		
システム ID （System IDs）	Menu	企業がシステムの追跡のために割り当てる個体識別用の文字列を.設定します。 2014 ノート＆デスクトップ: セキュリティ -> システム ID		
複製されたセットアップ（Replicated Setup）	Action	現在の BIOS 設定の USB デバイスへの保存と、USB デバイスからの BIOS 設定の復元を行います。 2014 ノート: 2015 新機能		
カスタムの初期設定の保存（Save Custom Defaults）	Action	工場出荷時設定の代わりに、カスタムの初期設定値を作成します。ただしセキュリティ設定をカスタムの初期設定に含めることは出来ません。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: ファイル -> デフォルト値の変更 -> 現在の設定を初期値として保存		再起動が必要
カスタムの初期設定を適用して終了 （Apply Custom Defaults and Exit）	Action	セキュリティ設定以外のカスタムの初期設定を設定します。 注記: 2014 度のデスクトップでは、1 種類の初期設定のみ適用する事ができました。2015 年のモデルではカスタムの初期設定または工場出荷時設定のどちらかを適用する事ができます。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: ファイル -> デフォルト値の変更 -> デフォルト値に設定して終了		
工場出荷時設定を適用して終了 （Apply Factory Defaults and Exit）	Action	セキュリティ設定以外の設定を工場出荷時設定に適用します。セキュリティ設定に対する工場出荷時設定の適用はセキュリティメニューの章をご参照ください。 2014 ノート: メイン -> 初期設定に戻す 2014 デスクトップ: 2 段階の手順です. • ファイル -> デフォルト値の変更 -> 工場出荷時設定をデフォルト値として復元 • ファイル -> デフォルト値に設定して終了		
変更を無視して終了 （Ignore Changes and Exit）	Action	現在のセッションで行った変更内容を保存しないで F10 セットアップを終了します。 2014 デスクトップ: ファイル -> 変更を保存しないで終了		
変更を保存して終了 （Save Changes and Exit）	Action	F10 セットアップを終了し、現在のセッションで行った変更内容のすべてを保存します。 2014 デスクトップ: ファイル -> 変更を保存して終了		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

3.2 システム BIOS のアップデートメニュー

メインメニューの下にあるこのサブメニューでは、現在のシステム BIOS 情報の確認、インターネットまたは LAN 経由でシステム BIOS をアップデートするための設定、ハードドライブの FAT 32 パーティションまたは USB フラッシュドライブからのシステム BIOS をアップデートの実行を行う事ができます。

BIOS のフラッシュの実行中はどの段階においても電源ケーブルを抜いたり電源をオフにしないでください。以下に BIOS フラッシュの 4 つの段階を説明します。

1. 最初にシステムは進捗バーを表示します。進捗が 100%になるとシステムは再起動します。
2. 画面には何も表示されない状態で、電源の LED が点滅し、何度かビープ音が鳴ります。この間システムはブートブロックをフラッシュしています。 画面には何も表示されませんのでこの LED の点滅とビープ音が鳴る事でシステムが正常にフラッシュしている事を判断します。
3. (Sure Start が有効なシステムの場合) システムが DXE を HP Security Device にコピーしている事を示す画面が表示されます。
4. 少しの間画面の表示が消え、その後 OS が起動します。これで BIOS フラッシュは完了です。

表 5 システム BIOS のアップデートメニューの機能

メイン（Main）->システム **BIOS** のアップデート（Update System BIOS）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
Current System BIOS Version	Display Only	現在の BIOS のバージョン		
Current BIOS Release Date	Display Only	現在の BIOS のリリース日		
Installation Date of Current BIOS	Display Only	現在の BIOS のインストール日		
Most Recent Update Check	Display Only	最後にアップデートのチェックをした日		
Check the Network for BIOS Updates (or) Check HP.com for BIOS Updates	Action	hp.com または"BIOS Update Preferences"メニューで指定した別の場所に保存された BIOS イメージを使用してシステム BIOS をアップデートします。 この機能は HP.com の BIOS を使用する場合、"Check HP.com for BIOS Updates"と表示されます。 2014 デスクトップ: ファイル -> フラッシュ システム ROM -> ネットワーク		再起動が必要
☐ Lock BIOS version	Setting	チェックボックスが有効の場合、BIOS のアップデートを禁止します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	

☐ Allow BIOS Update using a Network	Setting	チェックボックスが有効の場合、スケジュール設定に応じてネットワーク経由で BIOS を自動更新します。 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic BIOS Update Setting	チェック有（有効）	
BIOS Update Preferences	Menu	BIOS の入手先、アップデートが利用可能な場合の動作、アップデートのチェックの頻度などの設定を行います。 2014 ノート: メイン -> ネットワークアップデートの設定 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network		
Network Configuration Settings	Menu	BIOS アップデートに使用するサーバーに接続するためのネットワーク接続の設定. を行います。 2014 ノートおよびデスクトップ: 2015 新機能		
Update BIOS using Local Media	Action	ハードドライブまたは FAT 32 フォーマットの USB フラッシュドライブまたは EFI システムパーティションなどのローカルメディアに保存された BIOS イメージを使用してシステム BIOS をアップデートします。. 2014 デスクトップ: ファイル -> フラッシュシステム ROM -> ハード ドライブ		再起動が必要

3.3 BIOS Update Preferences メニュー

この“Update System BIOS”のサブメニューでは、ネットワーク経由でシステム BIOS をアップデートする際のアップデートのチェックの有効化、BIOS の入手先、アップデートが利用可能な場合の動作、アップデートのチェックの頻度などの設定を行います。

表 6 BIOS Update Preferences Menu の機能

メイン（Main）**->**システム **BIOS** のアップデート（Update System BIOS）**->BIOS Update Preferences**				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ Check for Update on Next Reboot	Action	チェックボックスが有効の場合、次回起動時に新しい BIOS が利用可能かどうかチェックを行います。 F10 セットアップメニューから “メイン -> システム BIOS のアップデート -> Check the Network for BIOS Updates”を選択すると再起動せずにアップデートのチェックを実行できます。 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデートの設定 -> Check for Update on Next Reboot 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Force Check on Next Reboot	チェック無（無効）	再起動が必要

BIOS Source	Setting	BIOS の入手先の URL を選択します。 • HP.com • Custom URL（カスタムの URL） 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデートの設定 -> BIOS Source 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Update Source	HP.com	
Edit Custom URL	Setting	HP.com 以外から BIOS を入手する場合は、ここでカスタムの URL を設定します。 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート設定 -> BIOS Source -> Edit Custom URL 2014 デスクトップ:カスタム -> Update BIOS via Network -> Update Address		
Automatic BIOS Update Setting	Setting	自動アップデートの際の動作を選択します。以下の設定が選択可能です。 • Do not update（アップデートしない） • Check for BIOS updates automatically, but let me decide whether to install them（BIOS のアップデートを自動的にチェックするが、インストールするかどうかは後で決める） • Download and install normal BIOS update automatically（通常の更新 BIOS を自動的にダウンロードおよびインストールする） • Download and install important BIOS updates automatically（重要な更新 BIOS を自動的にダウンロードおよびインストールする） 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート設定 -> Automatic BIOS Update Setting 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic BIOS Update Setting	Do Not Update	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

BIOS Update Frequency	Setting	BIOS アップデート サーバーを確認する頻度を設定します。ネットワーク サーバーで新しいバージョンの BIOS が利用可能になった場合、システムは BIOS をアップデートするように要求します。以下の設定が選択可能です。 • Daily（毎日） • Weekly（毎週） • Monthly（毎月） 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート設定 -> BIOS Update Frequency 2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic Update Frequency	Monthly	

3.4 Network Configuration Settings メニュー

この“Update System BIOS”の サブメニューではシステム BIOS アップデートに使用するサーバーに接続するためのネットワーク設定を行います。

表 7 Network Configuration Settings メニューの機能

メイン（Main）**->システム BIOS のアップデート（Update System BIOS）->Network Configuration Settings**				
機能	**タイプ**	**初期値**	**初期値**	**注記**
☐ Proxy Server	Setting	チェックボックスが有効の場合、プロキシサーバーを使用する事ができます。 2014 Notebook: Main -> Network Update Settings -> Proxy server 2014 Desktop: Advanced -> Connected BIOS -> Use Proxy	チェック無（無効）	
Edit Proxy Server	Setting	プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定します。例： Proxy.host.com:8088 Proxy.host.com 192.168.0.1:8088 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート 設定 -> Edit Proxy Server 2014 デスクトップ: カスタム -> Connected BIOS -> Use Proxy		
Test Network Connection	Action	現在の BIOS アップデート設定を使用してネットワークの接続テストを行います。 2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート 設定 -> Test Network Connection 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
IPv4 Configuration	Setting	IPv4 アドレスの取得方法を設定します。以下の設定が選択可能です。 • Automatic • Manual 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	Automatic	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

IPv4 Address	Setting	IPv4 settings が manual の場合に固定 IP アドレスを設定 します。2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能		
IPv4 Subnet Mask	Setting	IPv4 settings が manual の場合にサブネットマスクを設定します。2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能		
IPv4 Gateway	Setting	IPv4 settings が manual の場合にゲートウェイアドレスを設定します。2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能		
DNS Configuration	Setting	DNS サーバーアドレスの取得方法を設定します。以下の設定が選択可能です。 • Automatic • Manual 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	Automatic	
DNS Addresses	Setting	DNS configuration が manual の場合、DNS サーバーアドレスを設定します。複数設定する場合はコンマで区切ります。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能		
Data Transfer Timeout	Setting	データ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します。15 秒以下に設定しない事をお勧めします。s 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	30	
☐ Force HTTP No Cache	Setting	チェックボックスが有効の場合、HTTP キャッシングが無効になります。これにより上流のプロキシでのキャッシングも同様に無効になる事を意味し、更新された BIN ファイルやカタログファイルをコンテンツソースから取得するためダウンロードが少し遅くなる可能性があります。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	

3.5 システム ID メニュー

このサブメニューでは、企業がシステム追跡のために割り当てる個体識別用の文字列を設定します。

表 8 システム ID メニューの機能

メイン（Main）->システム **ID**（**System IDs**）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
アセットタグ （Asset Tracking Number）	Setting	カスタムのアセットタグを最大 18 文字で設定できます。 2014 ノート＆デスクトップ: セキュリティ -> システム ID -> アセットタグ	シリアル番号	
オーナーシップタグ（Ownership Tag）	Setting	カスタムのオーナーシップタグを最大 80 文字で設定できます。 2014 ノート: セキュリティ -> システム ID -> オーナーシップタグ (40 文字) S セキュリティ -> システム ID ->オーナーシップタグ 2 (40 文字) 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システム ID	空欄	

3.6 日付と時刻の設定

このサブメニューでは、システムの日付と時刻を設定します。

表 9 日付と時刻の設定メニューの機能

メイン（Main）**->**日付と時刻の設定（**Change Date and Time**）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
日付の設定 (MM/DD/YYYY) Set Date (MM/DD/YYYY)	Setting	現在の日付を月/日/西暦の形式で設定します。		
時刻の設定 (MM/DD/YYYY) Set Time (MM/DD/YYYY)	Setting	現在の時刻を時/分（24 時間）の形式で設定します。		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

4 セキュリティメニュー

メイン（Main）	セキュリティ（**Security**）	詳細設定（Advanced）	UEFI ドライバー（UEFI Drivers）	

HP Computer Setup

管理者ツール（**Administrator Tools**）

⇨ **BIOS 管理者パスワードの作成/変更（Create/Change BIOS Administration Password）**

⇨ **POST 電源投入時パスワードの作成/変更（Create/Change POST Power-On Password）**

□ 再起動時に指紋認証をリセット（指紋認証デバイスのあるノート **PC** のみ）
（**Fingerprint Reset on Reboot** (Notebook with Fingerprint Reader Only)）

⇨ パスワードポリシー（**Password Policies**）

セキュリティ構成（**Security Configuration**）

⇨ **TPM 内蔵セキュリティ（TPM Embedded Security）**

⇨ **BIOS SureStart**

⇨ **Smart Cover** (デスクトップのみ)

□ **Trusted Execution Technology (TXT)**

TXT cannot be enabled unless VTx, VTd and TPM are enabled first

Intel Software Guard Extensions (SGX)

ユーティリティ（**Utilities**）

⇨ ハードドライブユーティリティ（**Hard Drive Tools**）

Absolute® Persistence Module の現在の状態（**Absolute® Persistence Module Current State** ）

有効化のステータス:（**Activation Status :**）

Absolute® Persistence Module の恒久的な無効化:（**Absolute® Persistence Module Permanent Disable:**）

□ システム管理コマンド（**System Management Command (SMC)**）

⇨ **Restore Security Settings to Factory Defaults**

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

表 10 セキュリティ メニューの機能

セキュリティ（**Security**）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
BIOS 管理者パスワードの作成 （Create BIOS Administrator Password） または BIOS 管理者パスワードの変更 （Change BIOS Administrator Password）	Setting	BIOS 管理者パスワードは、F10 セットアップメニュー、3rd パーティーオプション ROM マネージメント（F3）、BIOS のアップデート、システム設定を変更するための WMI コマンド、BIOS Configuration Utility(BCU)へのアクセスを制御します。管理者パスワードを設定していない場合は誰でもこれらの設定を変更することが出来てしまいます。電源投入時パスワードが設定されている場合には、管理者パスワードを電源投入時パスワードの代わりに使用する事ができます。 電源投入時パスワードが設定されている場合には管理者パスワードも設定しておく事をお勧めします。電源投入時パスワードを忘れてしまった際に管理者が”セキュリティ設定を工場出荷時状態にリセットする”を使用して電源投入時パスワードをリセットする事ができます。 2014 ノート: セキュリティ -> BIOS F10 セットアップの管理者パスワードの作成 2014 デスクトップ: セキュリティ -> セットアップ パスワード		
POST 電源投入時パスワードの作成 （Create POST Power- On Password） または POST 電源投入時パスワードの変更 （Change POST Power-On Password）	Setting	OS のパスワードとは別に、PC の電源投入時に要求されるパスワードを設定します。電源投入時パスワードを設定していない場合は誰でも PC を起動する事ができます。管理者パスワードに加えて、電源納入時パスワードを 1 つのみ設定する事ができます。 電源投入時パスワードが設定されている場合には管理者パスワードも設定しておく事をお勧めします。電源投入時パスワードを忘れてしまった際に管理者が”セキュリティ設定を工場出荷時状態にリセットする”を使用して電源投入時パスワードをリセットする事ができます。 2014 ノート: セキュリティ -> ユーザー管理 -> BIOS ユーザアカウントの新規作成 (HP Client Security ユーザーを含む、複数のユーザーを作成してパスワードの設定が可能) 2014 デスクトップ: セキュリティ -> 電源投入時およびドライブロック パスワード		
☐ 再起動時に指紋認証をリセット （Fingerprint Reset on Reboot）	Action	チェックボックスが有効の場合、次回の再起動時に指紋認証情報をリセットします。再起動後はこのチェックボックスのチェックは無くなり無効になります。 2014 ノート: セキュリティ -> 再起動時に指紋認証をリセット（存在する場合）	チェック無（無効）	ノートのみ
パスワード ポリシー（Password Policies）	Menu	管理者が BIOS 管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードの条件に関するさまざまなルールを設定できるようにします。 2014 デスクトップ: 2015 新機能		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

TPM 内蔵セキュリティ（TPM Embedded Security）	Menu	Trusted Platform Module (TPM)の各種設定を行います。TPM は安全な通信とソフトウェアとハードウェアの整合性のためにセキュリティ機能を提供するための専用のマイクロプロセッサです。TPM ハードウェアによるソリューションはソフトウェアのみのソリューションよりも安全です。 2014 デスクトップ: 2015 新機能 個別の TPM 機能の詳細については本資料の TPM 内蔵セキュリティメニューの章をご参照ください。		
BIOS Sure Start	Menu	HP Sure Start の動作を設定します。HP Sure Start は内蔵のハードウェアセキュリティシステムで、BIOS を事故やマルウェアによる破壊から保護します。(1)BIOS が壊れている事を検知し、(2)最後にインストールされた HP に承認されたバージョンの BIOS を復元します。 2014 ノート: セキュリティ -> Sure Start 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
Smart Cover	Menu	デスクトップのカバー ロックとカバー センサーの動作を設定します。		カバーロック付きのデスクトップのみ
☐ Trusted Execution Technology (TXT)	Setting	チェックボックスが有効の場合、Trusted Execution Technology が有効になります。 注記: この機能を有効にすると内蔵セキュリティデバイスのリセットおよび VTx,VTd と内蔵セキュリティデバイスの設定を防止するために、内蔵セキュリティデバイスの OS 管理が無効になります。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	Unchecked	Intel のみ 再起動が必要
Intel Software Guard Extensions (SGX)	Setting	Intel Software Guard Extensions を有効化します。 以下の設定が可能です。 ● 有効化（Enabled） ● 無効化（Disabled） 注記: この機能は Intel vPro 対応のシステムでのみ利用可能です。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	Disabled	Intel のみ
ハード ドライブ ユーティリティ （Hard Drive Utilities）	Menu	ハード ドライブ内の情報を保護するためのユーティリティ: Drive Lock とセキュリティで保護された消去（Secure Erase）. 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール 2014 デスクトップ: 2015 新機能		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

Absolute® Persistence Module の現在の状態 （Absolute® Persistence Module）	Heading	Absolute® Software 社の盗難対策のトラッキングやデータ消去などを行うサブスクリプションサービスで使用する Persistance Moduke の状態を示します。 2014 ノート: セキュリティ -> 盗難防止ツール 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
有効化のステータス（Activation Status）	Display Only	サブスクリプションの状態を表示します。アクティブでない（Inactive）、アクティブ（Active）、無効（disabled） 2014 ノート: セキュリティ -> 盗難防止ツール 2014 デスクトップ: 2015 新機能	アクティブでない	
Absolute® Persistence Module の恒久的な無効化（Absolute® Persistence Module Permanent Disable）	Display Only	2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能	いいえ	
☐ システム管理コマンド（System Management Command）	Setting	チェックボックスが有効の場合、HP の認定サービスエンジニアがカスタマーサービスの際にセキュリティ設定をリセットする事ができるようになります。BIOS のセキュリティをより高めたいお客様はチェックを外してこの機能を無効にしてください。 注記: この機能が無効に設定されている状態で BIOS パスワードを忘れてしまった場合、HP の認定サービスエンジニアはパスワードをリセットする事ができなくなります。 2014 デスクトップ:2015 新機能	チェック有（有効）	再起動が必要
Restore Security Settings to Default	Action	すべてのセキュリティ設定を工場出荷時状態に初期化します。 2014 ノート: セキュリティ -> 初期設定のセキュリティレベルの復元 2014 デスクトップ: 2015 新機能		再起動が必要

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

4.1 パスワードポリシー メニュー

このサブメニューでは管理者が BIOS 管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードの条件に関するさまざまなルールを設定できるようにします。

表 11 パスワードポリシーメニューの機能

セキュリティ（Security）->パスワードポリシー（Password Policies）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
パスワードの最小長（Password Minimum Length）	Setting	パスワードに要求される最小文字数を設定します。. • 最小:4 • 最大:32 2014 ノート:パスワードの長さの下限 2014 デスクトップ:2015 新機能	8	
☐ 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの記号が必要です （At least one symbol required in Administrator and User passwords）	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上下記のような記号を含める必要があります。 $, %, ^, &, or # 2014 ノート: 記号を必ず含める 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	
☐ 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの数字が必要です （At least one number required in Administrator and User passwords）	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上数字を含める必要があります。 2014 ノート: 数字を必ず含める 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	
☐ 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの大文字が必要です （At least one upper-case character required in Administrator and User passwords）	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上大文字を含める必要があります。 2014 ノート: 大文字を必ず含める 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	
☐ 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの小文字が必要です （At least one lower-case character required in Administrator and User passwords）	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上小文字を含める必要があります。 2014 ノート: 小文字を必ず含める 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	
☐ 管理者パスワードおよびユーザーパスワードに空白文字を許可しますか？ （Are spaces allowed in password?）	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードにスペースを含める事ができるようになります。 2014 ノート:パスワードに空白文字を許可しますか？ デスクトップ:2015 新機能	チェック無（無効）	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ Prompt for Administrator password on F9 (Boot Menu)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F9 ブートメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無（無効）	
☐ Prompt for Administrator password on F11 (System Recovery)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F11 システムリカバリーメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無（無効）	
☐ Prompt for Administrator password on F12 (Network Boot)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F12 ネットワークブートメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無（無効）	
パスワード ジャンパーの消去（Clear Password Jumper）	Setting	デスクトップでは管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードをクリアするジャンパーが利用できます。この機能を“無視”に設定すると誰かがジャンパーを使用してパスワードをクリアしてしまう事を防止できます。以下の設定が選択可能です。: • 承認（Honor） • 無視（Ignore） 2014 デスクトップ: セキュリティ -> パスワード オプション -> 厳重なパスワード	承認	デスクトップのみ

4.2 TPM 内蔵セキュリティ メニュー

この サブメニューでは Trusted Platform Module (TPM.) の各種設定を行います。TPM は安全な通信とソフトウェアとハードウェアの整合性のためにセキュリティ機能を提供するための専用のマイクロプロセッサです。TPM ハードウェアによるソリューションはソフトウェアのみのソリューションよりも安全です。

表 12 TPM 内蔵セキュリティ メニューの機能

セキュリティ（Security）->TPM 内蔵セキュリティ（TPM Embedded Security）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
TPM Activation Policy	Setting	この設定では管理者は利便性とセキュリティの追加のどちらかを選択できます。セキュリティの追加ではシステムの利用者が TPM のアップグレードの際に F1 キーの入力を求める事でアップデートを確認する事（F1 to Boot）または、TPM のアップグレードを拒否する事（Allow user to reject）を選択できます。これらのようにユーザープロンプトを表示して物理的なユーザー入力を要求する事でリモートからのシステムへの攻撃の影響を制限する事ができます。セキュリティに関する要求が無い場合は 3 つ目の選択肢の（No prompts）を選択する事で TPM のアップグレードに対する利用者の関与が必要無くなります。多くのシステムをリモートから同時にアップグレードしたい場合には 3 つ目の選択肢（No prompts）が最適です。 以下の設定が選択可能です。 • F1 to Boot • Allow user to reject • No prompts	Allow user to reject	HP の推奨は物理的なユーザー入力を必要とする選択肢（1 つ目または 2 つ目）です。
TPM 仕様のバージョン（TPM Specification Version）	Display Only	現時点では Trusted Computing Group (TCG)によって定められている TPM 仕様のバージョンは 1.2 または 2.0 です。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能		
TPM デバイス（TPM Device）	Setting	TPM を利用可能にします。以下の設定が選択可能です。 • 利用可能（Available） • 非表示（Hidden） 2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイスセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス	利用可能	再起動および、ユーザー入力が必要
☐ TPM の状態（TPM State）	Setting	チェックボックスが有効の場合、TPM を有効にします。（OS が TPM の所有権を取得する事ができるようになります。） 2014 ノート: セキュリティ -> TPM 内蔵セキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス状態 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス	チェック有（有効）	再起動および、ユーザー入力が必要

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

TPM の消去（Clear TPM）	Action	次回ブート時（On next boot）が選択されている場合、次回起動時に TPM が初期化されます。TPM が初期化された後は番号（No）に再設定されます。以下の設定が選択可能です。 • 番号（No） • 次回ブート時（On next boot） 2014 ノート: セキュリティ -> TPM 内蔵セキュリティ ->工場出荷時設定 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス->工場出荷時設定に戻します。	番号	再起動が必要

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

4.3 BIOS Sure Start メニュー

Elite シリーズの HP Sure Start の動作を設定します。HP Sure Start は内蔵のハードウェアセキュリティシステムで、HP に承認された内蔵コントローラーファームウェアや BIOS のみが動作する事ができるようにします。

表 13 BIOS Sure Start メニューの機能

セキュリティ（Security）->BIOS SureStart				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ Verify Boot Block on Every Boot	Setting	チェックボックスが無効の場合、HP Sure Start©はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性確認を以下の時に実施します。 スリープ、ハイバーネーションからの復旧、 電源 OFF 状態からの起動。 チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start©はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性確認を以下の時に実施します。 スリープ、ハイバーネーションからの復旧、 電源 OFF 状態からの起動、OS の再起動。この設定によりセキュリティが向上しますが、OS の再起動に要する時間が増えます。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	再起動が必要
BIOS Data Recovery Policy	Setting	以下の設定が選択可能です。 • Automatic • Manual Automatic（自動）: HP SureStart はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアに整合性の問題が発生した場合に自動的に修復します。 Manual（手動）: HP SureStart はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアに整合性の問題が発生した場合に Windows + ↑（上矢印）+ ↓（下矢印） キーが押されるまでは修復しません。 注記: Manual（手動）リカバリーは、HP Sure Start が問題を修正する前にシステム管理者が原因調査するために使用する事を意図しています。一般の利用者にはこの設定はお勧めしません。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	Automatic	再起動が必要
ネットワークコントローラ設定の復元 （Network Controller Configuration Restore）	Action	HP Sure Start – Network Controller Configuration Restore ネットワークコントローラのパラメータを工場出荷時の状態に復元します。 注記: このプロセスには 30 秒程度かかる事があります。ネットワークコントローラの設定の不一致の警告が設定されている場合にのみこれを復元する必要があります。 2014 ノート: セキュリティ -> Sure Start -> Restore Network Controller Configuration to factory defaults 2014 デスクトップ: 2015 新機能		再起動が必要

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ ネットワークコントローラー設定の変更時に通知を表示する（Prompt on Network Controller Configuration	Setting	チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start はネットワークコントローラ設定をモニタして工場出荷時設定からの変更が検出された場合に利用者に通知します。通知が表示された際に利用者は通知を無視するかまたはネットワークコントローラを工場出荷時設定に戻す事を選択できます。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	Intel のみ 再起動およびユーザー入力が必要
☐ ブートブロックの動的ランタイムスキャン（Dynamic Runtime Scanning of Boot Block）	Setting	チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start©はオペレーティングシステムが稼働している間、15 分おきにフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性を確認します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	
☐ HP ファームウェアのランタイム侵入防止および検知機能の強化（Enhanced HP Firmware Runtime Intrusion Prevention and Detection）	Setting	Sure Start Security Event Policy の設定に基づきメモリ内の BIOS コードに対する改ざんや攻撃を監視してユーザーに通知する事で攻撃の実行を防ぎます。 注記: 2016 以降の Intel vPro 搭載モデルでのみ利用可能	チェック有（有効）	
☐ HP ファームウェアのランタイム侵入防止（HP Firmware Runtime Intrusion Prevention）	Setting	Sure Start Security Event Policy の設定に基づきメモリ内の BIOS コードに対する改ざんや攻撃を監視してユーザーに通知します。 注記: 2016 以降の AMD モデルでのみ利用可能	チェック有（有効）	
[HP Sure Start]のセキュリティ イベントポリシー（Sure Start Security Event Policy）	Setting	Sure Start の侵入検知イベントの取り扱いを設定します。 • イベントのみを記録する（Log the event in the audit log） • イベントを記録してユーザーに通知する（Log the event in the audit log and prompt the user to acknowledge the event.） • イベントを記録してシステムの電源を切る（Log the event in the audit log and power off the system.） 2016 以降のモデルでのみ利用可能	イベントを記録してユーザーに通知する	
☐ [HP Sure Start]による BIOS 設定の保護（Sure Start BIOS Settings Protection）	Setting	BIOS 設定をバックアップコピーの保存とリストアにより保護します。	チェック無（無効）	この機能を利用するには BIOS 管理者パスワードを設定する必要があります。

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

4.4 スマートカバー メニュー（デスクトップのみ）

このサブメニューではカバーロックとカバーセンサーの設定を行います。

表 14 スマートカバー メニューの機能

セキュリティ（Security）-> スマート カバー（Smart Cover）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
カバーロック	Setting	スマートカバーはソフトウェア制御のカバーロックです。この機能により PC の内部コンポーネントへの不正なアクセスを防止する事ができます。以下の設定が選択可能です。 • ロック有効（Lock） • ロック無効（Unlock）	ロック無効	カバーロックの付いているデスクトップのみ
カバーの取り外しセンサー	Setting	カバーの取り外しセンサーについて以下の設定が可能です。 • 無効（Disabled） • ユーザーに通知（Notify the User）： (個人が自分のデスクトップを管理する際に使用します。) • 管理者パスワード（Administrator Password）： (管理者パスワードの入力なしでのデスクトップの使用をブロックする事により、カバーの取り外しをデスクトップ管理者に警告するために使用します。この設定は管理者パスワードが設定されていない場合は表示されません。)	無効	カバーセンサーの付いているデスクトップのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

4.5 ハード ドライブ ユーティリティ メニュー

このサブメニューではハードドライブ内のデータの保護に関する次の機能を提供します。MBR（マスターブートレコード）の保存と復元、ハードドライブへの不正なアクセスやデータ消去の防止。

表 15 ハード ドライブ ユーティリティ メニューの機能

セキュリティ（Security）->ハードドライブ ユーティリティ（Hard Drive Utilities）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ システムのハードドライブの MBR の保存/復元（Save/Restore MBR of the system hard drive）	Setting	チェックが有効の場合、システムのハードドライブの MBR（マスターブートレコード）が保存されます。MBR が変更された場合、ユーザーは MBR の復元を認証するように求められます。 注記: UEFI ブートモードの場合は適用されません。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> システムのハード ドライブの MBR の保存/復元 2014 デスクトップ: セキュリティ -> マスターブート レコード セキュリティ	チェック無（無効）	再起動が必要
☐ システムのハードドライブの GPT の保存/復元（Save/Restore MBR of the system hard drive）	Setting	チェックが有効の場合、システムのハードドライブの GPT（グローバルパーティションテーブル）が保存されます。GPT が変更された場合、ユーザーは GPT の復元を認証するように求められます。 注記: レガシーブートモードの場合は適用されません。 2016 以降のモデルでのみ利用可能	チェック無（無効）	再起動が必要
☐ Allow OPAL Hard Drive SID Authentication	Setting	SID 認証をサポートする自己暗号化ドライブのセキュリティを強化します。この設定が有効の場合 3rd パーティ製品（暗号化ソフトウェア）は正常に動作しません。	チェック無（無効）	再起動が必要
DriveLock ドライブの選択（Select a Drive...）	Menu	ドライブロック（DriveLock）は選択したハードドライブへの不正なアクセスを防止します。ハードドライブにアクセスするには password の入力が必要になります。また、ドライブはドライブロックが設定されている PC に接続されている場合にのみアクセスする事ができます。 注記: ドライブロック（DriveLock）の状態をシステムの再起動の後に変更する事はできません。一旦システムの電源をオフにしてから再度電源をオンにして直接 F10 セットアップメニューを起動する必要があります。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> DriveLock 2014 デスクトップ: セキュリティ -> DriveLock Security		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

セキュリティ保護された消去（Secure Erase Select a Drive...）	Action	ハードウェアベースの方法を使用して、選択したハード ドライブからすべてのデータを安全に削除します。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> セキュリティ保護された消去 2014 デスクトップ: 2015 新機能		再起動が必要

4.6 DriveLock メニュー

ドライブロック（DriveLock）は選択したハードドライブへの不正なアクセスを防止します。ハードドライブにアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。また、ドライブはドライブロックが設定されている PC に接続されている場合にのみアクセスする事ができます。

注記: ドライブロック（DriveLock）の状態をシステムの再起動の後に変更する事はできません。一旦システムの電源をオフにしてから再度電源をオンにして直接 F10 セットアップメニューを起動する必要があります。

表 16 DriveLock メニューの機能

セキュリティ（Security）->ハードドライブ ユーティリティ（Hard Drive Utilities）->DriveLock				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
DriveLock のマスターパスワードの設定（Set DriveLock Master Password）	Setting	ドライブロックによる保護のために使用するパスワードを設定します。このパスワードはハード ドライブへのアクセスやドライブロックを無効にする際に要求されます。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> DriveLock -> DriveLock パスワード 2014 デスクトップ: セキュリティ -> ドライブロック セキュリティ -> マスターパスワードの設定		再起動が必要
DriveLock の有効化（Enable DriveLock）	Setting	DriveLock による保護を有効にし、ハードドライブへのアクセスを許可するマスターパスワードとは別のユーザーのパスワードを作成します。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> DriveLock -> 再起動時の DriveLock パスワード 2014 デスクトップ: セキュリティ -> ドライブロック セキュリティ -> ドライブロックの有効/無効	無効	再起動が必要
ドライブロックのユーザーパスワードの設定（Set DriveLock Password）	Setting	ドライブロックによる保護のために使用するパスワードをマスターパスワードは別に設定します。このパスワードはハード ドライブへのアクセスやドライブロックを無効にする際に要求されます。ドライブロックが有効の場合にのみ表示されます。		再起動が必要

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ Automatic DriveLock	Setting	BIOS がドライブロックを解除する前にユーザー認証が必要になるようにします。ユーザーには BIOS ユーザー（F10 セットアップで管理される）または HP Client Security のユーザー（OS で管理される）が使用可能です。 認証後、BIOS は自動的にドライブロックパスワードを提供します。 この機能のためには BIOS 管理者パスワードが必要です。また、それがドライブロックマスターパスワードとて設定されている必要があります。 2014 ノート: セキュリティ -> ハード ドライブ ツール -> 自動 DriveLock 2014 デスクトップ:2015 新機能	Disabled	再起動が必要
ドライブロックのマスターパスワードの変更（Chnange DriveLock Master Password）	String	ドライブロックが有効の場合にのみ表示されます。 ドライブロックのマスターパスワードを変更します。		
ドライブロックの無効化（Disable DriveLock）	Setting	ドライブロックが有効の場合にのみ表示されます。 ドライブロックを無効にします。		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5 詳細設定 メニュー

メイン（Main）	セキュリティ（Security）	詳細設定（**Advanced**）	UEFI ドライバー（UEFI Drivers）	

HP Computer Setup

- 表示言語（**Display Language**）
- スケジュールされた電源投入（**Scheduled Power-On**）
- ブート オプション（**Boot Options**）
- セキュア ブートの構成（**Secure Boot Configuration**）
- システム オプション（**System Options**）
- 内蔵デバイス オプション（**Built-In Device Options**）
- ポート オプション（**Port Options**）
- オプション **ROM** の起動ポリシー（**Option ROM Launch Policy**）
- 電源管理オプション（**Power Management Options**）
- **Remote Management Options** (Intel のみ)
- 電子ラベル（**Electronic Labels**）(ノート のみ)
- **Host Based MAC Adress**（**Host Based MAC Address**）(ノート のみ)

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.1 詳細設定 メニュー

詳細設定 メニューでは以下の表に記載されている機能が設定可能です。

表 17 詳細設定 メニューの機能

詳細設定（Advanced）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
表示言語（Display Language）	Menu	BIOS 設定メニューの表示言語とキーボードの言語を選択します。以下の 14 言語から選択可能です。 English, French, German, Spanish, Italian, Dutch, Danish, Japanese, Norwegian, Portuguese, Swedish, Finnish, Chinese Traditional, Chinese Simplified. 注記: BIOS 設定メニューにのみ影響し、OS や WMI コマンドには影響しません。 2014 ノート＆デスクトップ: キーボードの言語選択のみ 2015 新機能. 2014 デスクトップ: 2015 新規言語: Simplified Chinese , Traditional Chinese		
スケジュールされた電源投入（Scheduled Power On）	Menu	システムの電源投入する曜日と時刻（時、分）を選択します。この機能は電源オフ状態のシステムを起動します。. 2014 ノート＆デスクトップ: カスタム -> BIOS 電源投入		
ブート オプション（Boot Options）	Menu	システムのブートアップ中の動作を制御するための設定をします。 2014 ノート: セキュアブートの構成が別のメニューになりました。 2014 デスクトップ: ストレージ -> 起動順序、セキュリティ -> ネットワーク ブート、カスタム -> 電源投入時オプション.		
セキュアブートの構成（Secure Boot Configurations）	Menu	Windows 8 以降の機能であるセキュア ブートは攻撃やマルウェアからの感染への耐性を高める UEFI の機能です。工場出荷時の状態で、信頼するハードウェア、ファームウェア、オペレーティングシステム ローダー コードを識別するためのキーの一覧がシステムに含まれています。また、既知のマルウェアを識別するためのキーの一覧も含まれています。 2014 ノート: 詳細設定 -> ブートオプション 2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成		
システム オプション（System Options）	Menu	CPU、PCI、PCIe、電源ボタン、ファンクションキーなどを制御するための設定をします。 2014 ノート:2015 新機能 2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロット セキュリティ、カスタム -> バス オプション、カスタム -> デバイス オプション		
内蔵デバイス オプション（Built in Device Options）	Menu	PC に内蔵されたデバイスを制御するための設定をします。 2014 デスクトップ: カスタム -> 電源投入時オプション、カスタム -> デバイス オプション、カスタム -> VGA コンフィギュレーション、電源 -> 温度とセキュリティ -> ネットワーク ブート		

ポート オプション（Port Options）	Menu	システム上のポートの有効/無効や制限のための設定をします。 2014 デスクトップ: カスタム -> オンボードデバイス、カスタム -> デバイス オプション、セキュリティ -> デバイス セキュリティ、セキュリティ -> USB セキュリティ		
オプション ROM の起動ポリシー（Option ROM Launch Policy）	Menu	起動時に読み込むデバイス オプション ROM を設定 します。 2014 ノート: 2015 新機能		
Power Management Options	Menu	システムが省電力モードの際の動作を設定します。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 電源 -> OS 電源管理、電源 -> ハードウェア電源管理		
Remote Management Options	Menu	システムのリモート管理のためのインテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを制御するための設定を行います。 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション 2014 デスクトップ: カ ス タ ム -> 管理オプション		Intel のみ
電子ラベル（Electronic Labels）	Display Only	技適マークなど必須の認定ラベルを確認できます。 2014 ノート: 2015 新機能		ノートのみ
Host Based MAC Adress	Menu	カスタムの Host Based MAC Adress（HBMA）を設定して、ネットワークインターフェースカード（NIC）の優先度を定義します。 2016 ノート新機能	Disable	ノートのみ

5.2 表示言語 メニュー

このサブメニューでは表示言語とキーボード レイアウトを以下の言語から選択できます。

- English
- Deutsch
- Español
- Italiano
- Français
- 日本語
- Português
- Danske
- Svenska
- Nederlands
- Norsk
- Suomi
- 简体中文
- 繁體中文

NOTE: この設定は BIOS メニューにのみ影響し、OS や WMI コマンドには影響しません。

表 18 表示言語 メニューの機能

詳細設定（Advanced）->表示言語（Display Language）				
機能	**タイプ**	**説明**	**詳細**	**注記**
言語の選択（Select Language）	Setting	BIOS セットアップメニューで使用する言語を選択します。 2014 ノート: 詳細設定 -> 言語 2014 デスクトップ: F8 キー	English	
キーボード レイアウトの選択（Select Keyboard Layout）	Setting	BIOS セットアップメニューで使用するキーボードレイアウトの言語を選択します。 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	English	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.3 スケジュールされた電源投入 メニュー

このサブメニューでは電源オフ状態のシステムに対して自動的に電源投入する曜日と時刻を設定します。

表 19 スケジュールされた電源投入 メニューの機能

詳細設定（Advanced）->スケジュールされた電源投入（Scheduled Power On）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
☐ 日曜日（Sunday） ☐ 月曜日（Monday） ☐ 火曜日（Tuesday） ☐ 水曜日（Wednesday） ☐ 木曜日（Thursday） ☐ 金曜日（Friday） ☐ 土曜日（Saturday）	Setting	曜日を選択します。 2014 ノート＆デスクトップ: 詳細設定（カスタム） -> BIOS 電源投入		再起動が必要
時（Hour）	Setting	時間を選択します。0-23 2014 ノート＆デスクトップ: 詳細設定（カスタム） -> BIOS 電源投入 -> 時	0	再起動が必要
分（Minute）	Setting	分を選択します。 0－59 2014 ノート＆デスクトップ: 詳細設定（カスタム） -> BIOS 電源投入 -> 分	0	再起動が必要

5.4 ブート オプション メニュー

このサブメニューではシステムのブートアップ中の動作を制御するための設定をします。

表 20 ブート オプション メニューの機能

詳細設定（Advanced）->ブート オプション（Boot Options）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
スタートアップ メニュー遅延（秒）（Startup Menu Delay）	Setting	OS の起動開始を一時停止する時間を秒単位(0－60)で設定します。遅延を大きくすれば BIOS メニューを表示するためのキー入力のための猶予時間が増えます。 2014 デスクトップ: カスタム ->電源投入オプション -> POST 遅延時間	0	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ 高速起動（Fast Boot）	Setting	チェックが有効の場合、USB、CD-ROM、PXE などのブートをバイパスする事で起動時間を短縮します。 注記: POST 電源投入時パスワードが設定されている場合、他のセキュリティ機能が設定されている場合、起動順序が初期状態から変更されている場合には高速起動は無視されます。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成 -> 高速起動	チェック無（無効）	
☐ CD-ROM ブート（CD-ROM Boot）	Setting	チェックが有効の場合、システムが CD-ROM（光学ドライブ）から起動する事を許可します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能:ストレージ -> ストレージ オプション -> リムーバブル メディア ブート.	チェック有（有効）	
☐ USB ストレージ ブート（USB Storage Boot）	Setting	チェックが有効の場合、システムが USB ストレージから起動する事を許可します。 2014 ノート: 詳細設定 -> ブート オプション -> USB デバイスブート 2014 デスクトップ: 2015 新機能:ストレージ -> ストレージ オプション -> リムーバブル メディア ブート.	チェック有（有効）	
☐ ネットワーク（PXE）ブート（Network PXE Boot）	Setting	チェックが有効の場合、システムがネットワークから起動する事を許可します。 2014 ノート:詳細設定 -> ブート オプション -> PXE 内蔵 NIC ブート 2014 デスクトップ: セキュリティ -> ネットワーク ブート	チェック有（有効）	
停電後（After Power Loss）	Setting	停電から復旧した後の電源状態を選択します。以下の設定が選択可能です。 • 電源の切断（Power Off） • 電源の投入（Power On） • 前の状態（Previous State） 2014 デスクトップ: カスタム ->電源投入時オプション -> 電源コード抜き差し後の電源状態	電源の切断	デスクトップのみ
☐ 外部電源が検出されたときに電源をオンにする（Power On When AC Detected）	Setting	チェックが有効の場合、ノート PC の AC 電源が電源供給なしの状態から利用可能な状態になった時に、電源オンになります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> 外部電源が検出されたときに電源をオンにする	チェック無（無効）	ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ ディスプレイを開いたときに電源をオンにする（Power On When Lid is Open）	Setting	チェックが有効の場合、ノート PC のディスプレイを開いたときに電源がオンになります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイス オプション -> ディスプレイを開いたときに電源をオンにする	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ バッテリーエラーの通知を表示する（Prompt on Battery Errors）	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中にバッテリーエラーの警告を表示するようになります。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ サンダーボルト ブート（Thunderbolt Boot）	Setting	チェックが有効の場合、サンダーボルト インターフェースに接続されたデバイスから起動する事を許可します。 2014 ノート＆デスクトップ:2015 新機能	チェック無（無効）	サンダーボルト対応のシステムのみ
☐ Audio Alerts during boot	Setting	チェックが有効の場合、POST の間にエラーをビープ音で通知します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	
☐ メモリサイズの変更時に通知を表示する（Prompt on Memory Size Change）	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中にメモリサイズの変更が検出された場合にユーザー通知を表示するようになります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能. 2014 モデルでの近い機能としては、以下の設定で、メモリサイズの変更を含むすべての変更通知を無効になります。 カスタム -> POST 電源投入時オプション -> 設定変更時に F1 プロンプトを省略	チェック有（有効）	
☐ 固定ストレージの変更時に通知を表示する（Prompt on Fixed Storage Change）	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中に固定ストレージの変更が検出された場合にユーザー通知を表示するようになります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能 2014 モデルでの近い機能としては、以下の設定で、固定ストレージの変更を含むすべての変更通知を無効になります。 カスタム -> POST 電源投入時オプション -> 設定変更時に F1 プロンプトを省略	チェック無（無効）	
☐ NumLock on at boot		チェックが有効の場合。起動時にキーボードの NumLock が有効になります。	チェック無（無効）	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ UEFI ブート順序 （UEFI Boot Order）		チェックが有効の場合、システムが UEFI デバイスから起動する事を許可します。 2014 ノート:2015 新機能 2014 デスクトップ:ストレージ->ブート順序-> UEFI ブートソース->F5 Key レガシーブートが無効の場合、UEFI デバイスのみが起動可能となるため、UEFI ブート順序とレガシーブート順序のチェックボックスはグレイアウトされて機能しません。 UEFI ブート順序が有効の場合、システムは非 UEFI デバイスより先に UEFI デバイスから起動する事を試みます。 非 UEFI デバイスの起動順序を変更する事ができます。初期状態では以下のデバイスの種類の順に起動します。 • USB • SATA DVD (Desktop Only) • SATA Hard Drives • M.2 devices • Network	チェック有（有効）	
☐ レガシーブート順序（Legacy Boot Order）	Setting	チェックが有効の場合、システムが非 UEFI デバイスから起動する事を許可します。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: ストレージ -> 起動順序 -> レガシーブート ソース -> F5 key 詳細設定 –>セキュア ブートの構成 ->レガシーサポートおよびセキュアブートの構成に“レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化.”が選択されている必要があります。 レガシーブートが無効の場合、UEFI デバイスのみが起動可能となるため、UEFI ブート順序とレガシーブート順序のチェックボックスはグレイアウトされて機能しません。 UEFI ブート順序が有効の場合、システムは非 UEFI デバイスより先に UEFI デバイスから起動する事を試みます。 非 UEFI デバイスの起動順序を変更する事ができます。初期状態では以下のデバイスの種類の順に起動します。 • USB • SATA DVD (Desktop Only) • SATA Hard Drives • M.2 devices • Netwoek	チェック有（有効）	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.5 セキュア ブートの構成 メニュー

セキュアブートを構成するためのサブメニューです。 Windows 8 以降の機能であるセキュア ブートは攻撃やマルウェアからの感染への耐性を高める UEFI の機能です。工場出荷時の状態で、信頼するハードウェア、ファームウェア、オペレーティングシステム ローダー コードを識別するためのキーの一覧がシステムに含まれています。また、既知のマルウェアを識別するためのキーの一覧も含まれています。

表 21 セキュア ブートの構成 メニューの機能

詳細設定（Advanced）->セキュア ブートの構成（Secure Boot Configurations）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
レガシーサポートおよびセキュアブートの構成（Configure Legacy Support and Secure Boot）	Setting	レガシーサポートを有効にする事で非 UEFI デバイスから起動できるようになります。UEFI デバイスのみがセキュアブートをサポートします。以下の設定が選択可能です。 • レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化（Legacy Support Enable and Secure Boot Disable） • レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化（Legacy Support Disable and Secure Boot Enable） • レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの無効化（Legacy Support Disable and Secure Boot Disable） 2014 ノート: 詳細設定 -> ブート オプション -> ブート モード • レガシー • UEFI ハイブリッド（CSM あり） • UEFI ネイティブ（CSM なし） 2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成 -> レガシーサポート -> セキュアブート	Windows 7 プリインストールモデル レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化 Windows 8/8.1/10 プリインストールモデル **レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化**	
☐ カスタムのセキュアブートキーのインポート (Import Custom Secure Boot Keys)	Setting	チェックを入れてシステムを再起動すると、ハードドライブまたは USB デバイスの EFI\HP ディレクトリからカスタムセキュアブートキーがインポートされます。カスタムキーは、PK、KEK、DB、および Dbx の.bin ファイルで構成されています。 インポートが成功するか失敗すると、各キーbin ファイルの結果を示す起動前プロンプトが表示されます。	チェック無（無効）	再起動が必要

☐ セキュア ブート キーのクリア	One Time Action	チェックが有効の場合、設定を保存して BIOS セットアップ画面を抜けるとセキュアブートキーをクリアします。その後このチェックは外れて無効に戻ります。このアクションはレガシーサポートが有効の場合やセキュアブートキーがクリアされて無い場合には利用できません。 2014 ノート: 詳細設定 ->ブート オプション -> セキュア ブートキーのクリア 2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュア ブートの構成 -> セキュア ブート キーのクリア -> キーの所有者: HP キー	チェック無（無効）	
☐ セキュア ブート キーを工場出荷時の状態に戻します	One Time Action	チェックが有効の場合、設定を保存して BIOS セットアップ画面を抜けるとセキュアブートキーを一度工場出荷時の状態に戻します。その後このチェックは外れて無効に戻ります。 2014 ノート: 詳細設定 -> ブート オプション -> ユーザー モード -> HP ファクトリーキー	チェック無（無効）	
☐ Enable MS UEFI CA key	Setting	チェックが有効の場合、セキュアブートが Microsoft (MS) UEFI 認証機関 (CA) キーを信頼します。 注記: Windows 10 のデバイスガードを使用する場合はチェックを外します。 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	Checked	
BIOS でデバイスガードを使用する準備が完了しました（Reay BIOS for Device Guard Use）	Action	Windows のデバイスガードを有効にするために必要な BIOS 設定をまとめてセットアップしたり元に戻したりするための機能です。 以下の設定が選択可能です。 • 何もしない（Do Nothing） • 次回ブート時に構成（Configure on Next Boot） • 次回ブート時に構成をクリア（Clear Configuration on Next Boot） “次回ブート時に構成”に設定すると、変更を保存して終了後のブート時に、以下の機能が変更されます。 仮想化技術の機能が有効になります。 リムーバブルおよびネットワークブートデバイスは無効になります。（USB ブート、CD-ROM ブート、Thunderbolt ブートなど） MS UEFI CA キーは無効になります。 “次回ブート時に構成をクリア“に設定すると、上記の機能について、カスタムの初期設定が保存されている場合はその設定が復元され、保存されていない場合は工場出荷時の初期設定が復元されます。		

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.6 システム オプション メニュー

表 22 システム オプション メニューの機能

詳細設定（**Advanced**）->システム オプション（**System Options**）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ RAID 用ストレージ コントローラの構成（Configure Storage Controller for RAID）	Setting	チェックが有効の場合、SATA コントーラが RAID モードに構成されます。 2014 デスクトップ: ストレージ -> ストレージオプション -> SATA エミュレーション	チェック無（無効）	デスクトップのみ
PCIE GEN Support Speed	Setting	PCI Express デバイスの最大速度を以前の世代のものに制約する事ができます。 • 自動（Auto） • Gen 1 • Gen 2 • Gen 3 2014 ノート＆デスクトップ: 2015 新機能	自動	
☐ RAID 構成のポストプロンプト（POST Prompt for RAID Configuration）	Setting	チェックが有効の場合、RAID Configuration Utility のためのプロンプトを表示します。 2014 デスクトップ: ストレージ -> ストレージオプション -> Ctrl-I Suppression	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ Turbo Boost	Setting	チェックが有効の場合、実行条件が満たされた時に Intel® ターボブーストテクノロジーが有効になりパフォーマンスを改善します。 2014 ノート: 2015 新機能 2024 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> ターボ モード	チェック有（有効）	Intel のみ
☐ ハイパースレッディング（Hyper-threading (Intel® HT))	Setting	チェックが有効の場合、Intel プロセッサのハイパースレッディングが有効になります。 Intel HT テクノロジー (HT) はマルチスレッドのソフトウェア製品のパフォーマンスを改善するように設計されています。コンピューターシステムのプロセッサ、チップセット、BIOS および OS が HT をサポートしている必要があります。お使いのソフトウェアが HT に対応しているかどうかはソフトウェアの供給元にご確認ください。 詳細は下記 URL の情報をご参照ください。 http://www.intel.com/info/hyperthreading 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> Intel® HT Technology 2014 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> ハイパースレッディング (Intel® HT)	チェック有（有効）	ハイパースレッディング対応の Intel CPU (Core i7)のみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ Multi-processor	Setting	チェックが有効の場合、BIOS が OS に対してマルチコアプロセッサーを認識させる事ができるようになります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> マルチコア CPU 2014 デスクトップ: カスタム -> デバイスオプション -> マルチプロセッサ	チェック有（有効）	
☐ Launch Hotkeys without Fn Keypress	Setting	チェックを入れると、Fn-Fx の組み合わせによるホットキー入力が Fx キーを押すだけで機能するようになります（Fn-F4 の代わりに F4 など）。 デスクトップ:存在しません	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ Virtualization Technology (VTx)	Setting	チェックが有効の場合、Intel ベースのシステムで仮想化テクノロジー（VT）が有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> Virtualization Technology (VTx) 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> Virtualization Technology (VTx)	チェック無（無効）	Intel のみ
☐ Virtualization Technology for Directed I/O (VTd)	Setting	チェックが有効の場合、Intel ベースのシステムで仮想マシンが周辺装置に直接アクセスする事が許可されます。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> Virtualization Technology for Directed I/O (VTd) 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> Virtualization Technology for Directed I/O (VTd)	チェック無（無効）	Intel のみ
☐ SVM CPU Virtualization	Setting	チェックが有効の場合、AMD ベースのシステムで仮想化テクノロジーが有効になります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> SVM CPU Virtualization	チェック無（無効）	AMD のみ
☐ Swap Fn and Ctrl (Keys)	Setting	チェックが有効の場合、ファンクション（Fn）キーとコントロール（Ctrl）キーの機能が入れ替わります。 2014 ノート: 詳細 -> デバイス構成 -> Fn キー切り替え	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ Enable Turbo Boost on DC	Setting	チェックが有効の場合、Intel® ターボブーストテクノロジーは電源アダプターが接続されていない状態でも有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> Enable Turbo Boost on DC	チェック無（無効）	Intel ノートのみ
☐ PCI Express x16 Slot 1	Setting	チェックが有効の場合、PCI Express x16 スロットが利用可能になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ	チェック有（有効）	デスクトップのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ PCI Express x1 Slot 1	Setting	チェックが有効の場合、PCI Express x1 スロット 1 が利用可能になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ PCI Express x1 Slot 2	Setting	チェックが有効の場合、PCI Express x1 スロット 2 が利用可能になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ PCI Express x4 Slot 1	Setting	チェックが有効の場合、PCI Express x4 スロット 1 が利用可能になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ PCIe/PCI SERR#割り込みの許可（Allow PCIe/PCI SERR# Interrupt）	Setting	チェックが有効の場合、PCI デバイスが PCI の仕様で定義されている SERR#（システムエラー）を生成することが許可されます。 2014 Desktop: Advanced -> Bus Options -> PCI SERR# Generation	チェック有（有効）	デスクトップのみ
電源ボタンのオーバーライド（Power Button Override）	Setting	デスクトップ PC の電源ボタンの長押しで電源を切る際に要求される時間を設定します。電源ボタンのオーバーライドの動作はオペレーティングシステムで定義されます。以下の設定が選択可能です。 ● 無効（Disable） ● 4 秒（4 sec）	4 秒	デスクトップのみ
☐ AMD DASH	Setting	AMD リモートシステム管理機能を有効にします。	チェック無（無効）	AMD のみ
☐ Fast Charge	Setting	バッテリーを高速充電します。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ M.2 無線 LAN / BT（M.2 WLAN / BT）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の M.2 無線 LAN / Bluetooth が有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ M.2 SSD	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の M.2 SSD が有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ Dynamic Platform and Thermal Framework（DPTF）	Setting	消費電力と温度状態を管理してシステムのオーバーヒートを防止します。	Enable	Intel ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ Optical Disk Drive	Setting	チェックが有効の場合、光学ドライブが有効になります。	チェック有（有効）	HP Elite Slice のみ
☐ Allow Expansion Modules	Setting	チェックが有効の場合、拡張モジュールが有効になります。	チェック有（有効）	HP Elite Slice のみ
☐ カバーのロック（Top Cover Function）	Setting	HP Elilte Slice のカバーの機能の有効または無効にします。	チェック有（有効）	HP Elite Slice のみ
Cover Button Sensitivity	Setting	HP Elite Slice のカバーボタンの感度を調整します。 Low/Medium/High が選択可能です。	Medium	HP Elite Slice のみ カバーロックが有効の場合の未設定可能
☐ Power On from Cover Buttons	Setting	チェックが有効の場合、HP Elite Slice のカバーボタンから電源投入する事ができます。	チェック無（無効）	HP Elite Slice のみ カバーロックが有効の場合の未設定可能
Configure Storage Controller for Intel Optane	Setting	チェックが有効の場合、SATA コントローラが Intel Optane メモリを使用するモードになります。 2016 以降のモデルでのみ利用可能		Intel Optane メモリを搭載した Intel Kabylake CPU の PC のみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.7 内蔵デバイス オプション メニュー

このサブメニューではシステムに内蔵されたデバイスの設定を行います。

表 23 内蔵デバイス オプション メニューの機能

詳細設定（Advanced）->内蔵デバイス オプション（Built-in Device Options）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ 内蔵 LAN コントローラー（Embedded LAN Controller）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵のネットワークインターフェースコントローラー（NIC）デバイスが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイス セキュリティ -> ネットワーク コントローラー	チェック有（有効）	
ウェイク オン LAN（Wake on LAN）	Setting	システムがネットワーク（LAN）から起動する事を許可します。以下の設定が選択可能です。 • 無効（Disabled） • ネットワークからのブート（Boot to Network） • ハードドライブからのブート（Boot to Hard Drive） 2014 デスクトップ:2015 新機能	ネットワークからのブート	
☐ Wake on WLAN	Setting	スリープ状態のシステムが無線 LAN（WLAN）から起動する事を許可します。 2014 ノート＆デスクトップ:2016 新機能	チェック無（無効）	
☐ Dust Filter	Setting	チェックが有効の場合、ダストフィルターの交換のための通知が有効になります。次の機能で設定した期間が経過するとユーザー通知が表示されるようになります。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	デスクトップのみ
Dust Filter Reminder (Days)		ダストフィルター交換通知の間隔（日）を設定します。 • 15 • 30 • 60 • 90 • 120 • 180 2014 デスクトップ: 2015 新機能	60	デスクトップのみ
☐ 内蔵ビデオ（Integrated Video）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵ビデオデバイスが有効になります。内蔵ビデオを使用していない場合は無効にする事でシステムメモリの消費を抑える事ができます。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	追加のグラフィックスカードを搭載したデスクトップのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

VGA ブート デバイス（VGA Boot Device）		起動時にファームウェアは 1 つのグラフィックデバイスのみを使用する事ができます。そのためグラフィックスカードが追加されている場合には、この機能を使用してシステムの起動中に優先 VGA デバイスとして使用するグラフィックスを選択します。 • 内蔵グラフィックス（The integrated graphics） • 追加のグラフィックスカード（Add-in graphics card） 2014 デスクトップ: 2015 新機能	追加のグラフィックスカードがプライマリとして設定	追加のグラフィックスカードを搭載したデスクトップのみ
ビデオ メモリ サイズ（Video Memory Size）	Setting	システムメモリの中からビデオメモリとして使用するサイズを予約します。以下の設定が選択可能です。 Intel: • 32 MB • 64 MB • 128 MB • 256 MB • 512 MB AMD: • 128 MB • 256 MB • 512 MB • 自動（Auto） 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> ビデオ メモリ サイズ 2014 デスクトップ: 2015 新機能	Intel: 32 MB AMD: 自動	
グラフィックス（Graphics）	Setting	グラフィックスカードの設定をします。以下の設定が選択可能です。 • ハイブリッド グラフィックス（Hybrid Graphics） • UMA グラフィックス（UMA Graphics） 2014 ノート: 2015 新機能	ハイブリッドグラフィックス	追加のグラフィックスカードを搭載したノートのみ
☐ オーディオ デバイス（Audio Device）	Setting	内蔵マイク、内蔵スピーカー、ヘッドフォン出力の有効/無効を設定します。 チェックが有効の場合、オペレーティングシステムから各オーディオデバイスを制御する事ができます。 チェックが無効の場合、全てのオーディオデバイスはオペレーティングシステム上に表示されなくなります。以下の各機能のオーディオデバイス設定はグレイアウトされて設定する事ができなくなります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイス セキュリティ -> システム オーディオ	チェック有（有効）	
☐ 内蔵マイク（Integrated Microphone）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵マイクが有効になります。 2014 デスクトップ: 2015 新機能 最も近い機能はセキュリティ -> デバイス セキュリティ -> システム オーディオ	チェック有（有効）	ノート Only

☐ 内蔵スピーカー（Internal Speakers）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵スピーカーが有効になります。 2014 **ノート**: 2015 新機能 最も近い機能は 詳細設定–> 内蔵デバイスオプション -> スピーカーとヘッドフォン 2014 デスクトップ: 2015 新機能 最も近い機能はセキュリティ -> デバイス セキュリティ -> システム オーディオ	チェック有（有効）	
☐ ヘッドフォン出力（Headphone Output）	Setting	チェックが有効の場合、ヘッドフォンジャックが有効になります。 2014 **ノート**: 2015 新機能 最も近い機能は 詳細設定–> 内蔵デバイスオプション -> スピーカーとヘッドフォン	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ 内蔵 GPS デバイス（Embedded GPS device）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵 GPS デバイスが有効になります。 2014 **ノート**: 2015 新機能	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ Intel® Smart Sound	Setting	チェックが有効の場合、 Intel®スマートサウンドが有効になります。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有（有効）	Intel ノートのみ
☐ ワイヤレスボタンのロック（Lock Wireless Button）	Setting	チェックが有効の場合、ワイヤレスボタンを使用して WLAN デバイスをオン/オフする事ができなくなります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> 無線ボタン状態	Unchecked	ノートのみ
アイドル状態のファン速度の増加(%)（Increase Idle Fan Speed (%)）	Setting	デスクトップの温度センサーの制御により通常はファンがオフの状態になっている時にファンを稼働させる際の最小ファン速度を設定します。. ファン速度を 0–100%.で設定します。 2014 デスクトップ: 電源 -> 温度 -> ファンアイドルモード	0	Desktop のみ
☐ ワイヤレスネットワークデバイス (WLAN)（Wireless Network Device (WLAN)）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の 802.11 デバイスが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> 内蔵無線 LAN デバイス	チェック有（有効）	ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ モバイル ネットワーク デバイス (WWAN) （Mobile Network Device (WWAN)）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の無線 WAN デバイスが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> 内蔵無線 WAN デバイス	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ ブルートゥース （Bluetooth）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の Bluetooth デバイスが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> 内蔵 Bluetooth デバイス	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ LAN/無線 LAN 自動切り替え （LAN/WLAN Auto Switching）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵無線 LAN デバイスと内蔵 LAN コントローラーの自動切り替えが有効になります。LAN 接続が検出されると無線 LAN が無効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> LAN/WLAN 切り替え	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ バッテリ モードでのウェイク オン LAN （Wake on LAN in Battery Mode）	Setting	チェックが有効の場合、バッテリーから給電されている時のウェイクオン LAN が有効になります。	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ 外部電源の使用時はファンを常にオン （Fan Always on while on AC Power）	Setting	チェックが有効の場合、外部電源を使用している間ファンを常にオンにします。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> 外部電源の使用時はファンを常にオン	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ Boost Converter	Setting	チェックが有効の場合、CPU が利用可能な電力を増加させて CPU が瞬間的にパフォーマンスを得るために外部電源に接続されている時にバッテリーから電力を得ます。	チェック有（有効）	ノートのみ
バックライト付きキーボードのタイムアウト（Backlit Keyboard Timeout）	Setting	キーボードのバックライト LED のタイムアウト期間を設定します。以下の設定が選択可能です。 • 5 秒（5 secs） • 15 秒（15 secs） • 30 秒（30 secs） • 1 分（1 min） • 5 分（5 min） • Never 2014 ノート: 2015 新機能	15 秒	ノートのみ
☐ 指紋認証デバイス （Fingerprint Device）	Setting	チェックが有効の場合、指紋認証デバイスが有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ 内蔵前面カメラ（Integrated Front Camera）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵前面カメラが有効になります。	チェック有（有効）	
☐ 内蔵背面カメラ（Integrated Rear Camera）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵背面カメラが有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ タッチデバイス（Touch Device）	Setting	チェックが有効の場合、タッチスクリーンが有効になります。	チェック有（有効）	
☐ GPS デバイス（GPS Device）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵 GPS が有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ WWAN Quick Connect	Setting	チェックが有効の場合、WWAN デバイスへの電力供給を維持して素早く接続できるようにします。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ Lock Wireless Button	Setting	チェックが有効の場合、無線 LAN ボタンを無効にします。	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ M.2 USB / Bluetooth	Setting	チェックが有効の場合、M.2 コネクターに接続された USB または Bluetooth が有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ NFC	設定	チェックが有効の場合、内蔵の NFC が有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.8 ポート オプション メニュー

このサブメニューではポートに関する設定を行います。

表 24 ポート オプション メニューの機能

詳細設定（Advanced）->ポート オプション（Port Options）				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
☐ サンダーボルト ポート（Thunderbolt Port）	Setting	サンダーボルトは 1 つのコンパクトなポートを通じで高解像度のディスプレイや高速なデータ転送をサポートする新しい I/O テクノロジーです。 チェックが有効の場合、内蔵サンダーボルト ポートが有効になります。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有（有効）	ノートのみ
サンダーボルトのセキュリティレベル（Thunderbolt Security Level）	Setting	以下の設定が選択可能です。 • PCIe とディスプレイポート – セキュリティなし（PCIe and DisplayPort – No Security） • PCIe とディスプレイポート – ユーザー認証（PCIe and DisplayPort – User Authorization） • PCIe と DisplayPort – 安全な接続（PCIe and DisplayPort – Secure Connect） • DisplayPort のみ（DisplayPort Only） 2014 ノート: 2015 新機能	PCIe と ディスプレイポート – セキュリティなし	ノートのみ
☐ USB ポート（USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ USB 充電用ポート（USB Charging Port）	Setting	チェックが有効の場合、ハイバーネーション中やシャットダウンされた状態でも USB 充電用ポートからデバイスに給電できるようになります。この設定はデスクトップの“USB 充電用ポートの機能”と同じです。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ メディア カード リーダー（Media Card Reader）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵メディアカードリーダーが有効になります。この設定はデスクトップの“メディア カード スロット /SD_RDR USB”と同じです。 2014 ノート: 詳細設定 -> 電源オプション -> フラッシュ メディア リーダー	チェック有（有効）	ノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ スマート カード（Smart Card）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵スマートカードスロットが有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ スマート カードの省電力（Smart Card Power Savings）	Setting	チェックが有効の場合、スマート カードの省電力機能が有効になります。これによりカードが取り外された際にセッションが維持されなくなります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> スマート カード リーダーの電源設定	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ シリアル ポート A(B)（Serial Port A (B)）	Setting	チェックが有効の場合、シリアル ポート A(B)が有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイス セキュリティ -> シリアル ポート A (B)	チェック有（有効）	デスクトップのみ
I/O Address A (B)	Setting	以下の設定が選択可能です。 • Auto • 3F8 • 2F8 • 3E8 • 2E8 2014 デスクトップ: カスタム -> オン ボード デバイス -> シリアル ポート A (B)	Auto	デスクトップのみ
Interrupt A (B)	Setting	以下の設定が選択可能です。 • Auto • IRQ 3 • IRQ 4 • IRQ 5 • IRQ 10 2014 デスクトップ: カスタム -> オン ボード デバイス -> シリアル ポート A (B)	Auto	デスクトップのみ
SATA0 (1,2,3,4,5)	Setting	チェックが有効の場合、SATA ポートが有効になります 2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイス セキュリティ -> SATA0 (1,2,3,4,5)	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ 前部 USB ポート（Front USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、前部の USB ポートが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> USB セキュリティ -> 前面の USB ポート	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ Front USB Port（1,2,3,4,5）	Setting	チェックが有効の場合、前部の個別の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ 後部 USB ポート（Rear USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、後部の USB ポートが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ -> USB セキュリティ -> 背面の USB ポート	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ Rear USB Port（1,2,3,4,5,6）	Setting	チェックが有効の場合、背部の個別の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ USB 充電用ポートの機能（USB Charging Port Function）	Setting	チェックが有効の場合、ハイバーネーション中やシャットダウンされた状態でも USB 充電用ポートからデバイスに給電できるようになります。この設定はノートの“USB 充電用ポート”と同じです。 2014 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> USB 充電用ポート	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ メディア カード スロット /SD_RDR USB（Media Card Reader/SD_RDR USB）	Setting	チェックが有効の場合、内蔵メディアカードリーダーが有効になります。この設定はノートの“メディア カード リーダー”と同じです。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	デスクトップのみ
USB デバイスの制限（Restrict USB Devices）	Setting	以下の設定が選択可能です。 • すべての USB デバイスを許可（Allow all USB Devices） • キーボードおよびマウスのみを許可（Allow only keyboard and mouse） • ストレージ デバイスおよびハブ以外を許可（Allow all but storage devices and hubs） 2014 デスクトップ: 2015 新機能	すべての USB デバイスを許可	デスクトップのみ
Voltage（A,B,C,D）	Setting	電源供給シリアルポートを搭載した RPOS ユニットで供給電圧を選択します。	0 Volts	RPOS システムのみ
☐ M.2 SSD 1	Setting	チェックが有効の場合、M.2 SSD ストレージデバイスが有効になります。	チェック有（有効）	
☐ M.2 SSD 2	Setting	チェックが有効の場合、M.2 SSD ストレージデバイスが有効になります。	チェック有（有効）	
☐ USB ポート（USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、すべての USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ 左 USB ポート（Left USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、左側の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ 右 USB ポート（Right USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、右側の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ 上部 USB ポート（Top USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、上部の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ 下部 USB ポート（Bottom USB Ports）	Setting	チェックが有効の場合、下部の USB ポートが有効になります。	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ USB SuperSpeed Ports at 10Gb(Gen2)	Setting	チェックが有効の場合、USB SuperSpeed ポートが有効になります。	チェック有（有効）	HP EliteDesk 705 G3 のみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

Disable Charging Port in sleep/off if battery below(%)	Setting	バッテリー残量が閾値を下回った場合にチャージングポートからの電源供給を停止します。	10%	ノートのみ
☐ Rear USB Type-C Downstream Charging	Setting	チェックが有効の場合、背面の USB Type-C ポートからの電源供給が有効になります。	チェック有（有効）	2016 モデルのデスクトップのみ
☐ Front USB Type-C Downstream Charging	Setting	チェックが有効の場合、前面の USB Type-C ポートからの電源供給が有効になります。	チェック有（有効）	2016 モデルのデスクトップのみ
☐ Left USB Type-C Downstream Charging	Setting	チェックが有効の場合、左側の USB Type-C ポートからの電源供給が有効になります。	チェック有（有効）	HP Elite Slice のみ
☐ USB Type-C Controller Firmware Update	Setting	チェックが有効の場合、USB Type-C コントローラーのファームウェアの更新を許可します。	チェック有（有効）	HP Elite Slice のみ
☐ Downstream USB Charging From Type C Port	Setting	チェックが有効の場合、USB Type-C ポートからの電源供給が有効になります。	チェック有（有効）	2015 モデルのデスクトップのみ
☐ Cash Drawer Port	Setting	チェックが有効の場合、RPOS システムのキャッシュドロワーポートが有効になります。	チェック有（有効）	RPOS システムのみ

5.9 オプション ROM の起動ポリシー メニュー

このサブメニューではシステムの起動時に読み込むデバイスオプション ROM の設定を行います。

表 25 オプション ROM の起動ポリシー メニューの機能

詳細設定（Advanced）->オプション ROM の起動ポリシー（Option ROM Launch Policy）				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
オプション ROM の起動ポリシー（Configure Option ROM Launch Policy）	Setting	以下の設定が選択可能です。 • すべてのレガシー（All Legacy） • すべての UEFI（All UEFI） • ビデオを除くすべての UEFI（UEFI Except Video） 2014 ノート;2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能 この機能は以下の機能を統合したものです。 カスタム -> オプション ROM の起動ポリシー 以下の個別の機能があります。 PXE Option ROM Storage Option ROM Video Option ROM 以下の設定が選択可能です。 • レガシーのみ+ • UEFI のみ • 起動しない	すべてのレガシー	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.10 Power Management Options メニュー

このサブメニューでは電源管理のための設定を行います。

表 26 Power Management Options メニューの機能

詳細設定（Advanced）->Power Management Options				
機能	**タイプ**	**説明**	**初期値**	**注記**
☐ 実行時の電源管理（Runtime Power Management）	Setting	チェックが有効の場合、実行時の電源管理を有効にします。 2014 デスクトップ;電源 ->OS 電源管理->実行時の電源管理	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ アイドル状態の拡張電力設定（Extended Idle Power States）	Setting	チェックが有効の場合、OS のアイドル状態での省電力を増強します。 2014 デスクトップ:電源 r -> OS 電源管理 -> アイドル時の節電	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ S5 最大省電力（S5 Maximum Power Savings）	Setting	チェックが有効の場合、S5（オフ）状態でのシステムの消費電力を最小化します。 注記: Windows 8 で高速起動が有効の場合は S4（ハイバーネーション）状態で電源を切ります。 2014 デスクトップ: 電源 -> ハードウェア パワーマネジメント -> S5 最大省電力	チェック無（無効）	デスクトップのみ
☐ SATA 電源管理（SATA Power Management）	Setting	チェックが有効の場合、アイドル時に SATA バスが省電力状態になります。 2014 デスクトップ: 電源 -> ハードウェア パワーマネジメント->シリアル ATA パワーマネジメント	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ ディープ スリープ（Deep Sleep）	Setting	チェックが有効の場合、S3/S4/S5 状態の時にチップセットへの電力供給をオフにする事で消費電力を減らしてバッテリーの寿命を延ばします。 注意: ディープ スリープを有効にすると外部電源なしでのウェイクオン USB などのいくつかの起動イベントが無効になります。 2014 ノート: 詳細設定 ->デバイス構成 ->ディープ スリープ	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ PCI Express の電源管理（PCI Express Power Management）	Setting	チェックが有効の場合、アイドル時に PCI Express バスが省電力状態になります。 2014 デスクトップ: 電源 -> ハードウェア パワーマネジメント -> PCI Express パワーマネジメント	チェック有（有効）	

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ キーボードコネクタからの電源投入（Power On from Keyboard Ports）	Setting	チェックが有効の場合、キーボードのキーを押す事でデスクトップの電源を投入できるようになります。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	デスクトップのみ
☐ スリープ状態に固有の点滅速度（Unique Sleep State Blink Rates）	Setting	チェックが有効の場合、デスクトップが S4 状態の時に電源 LED が周期的に 4 回点滅を繰り返します。同様に S3 状態の時には 3 回点滅を繰り返します。チェックが無効の場合、デスクトップは S4 状態の時に電源 LED は点滅しません。（S5、電源オフの場合と同じです） S3 状態の時には 1 回の点滅を周期的に繰り返します。 2014 デスクトップ:電源 -> OS 電源管理 ->各スリープ状態時の LED の点滅速度	チェック無（無効）	デスクトップのみ
☐ ディスプレイを開いた時に電源をオンにする（Wake when Lid is Opened）	Setting	チェックが有効の場合、ディスプレイを開いた時にノートがスリープ状態から復帰します。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション ->ディスプレイを開いた時に電源をオンにする	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ ウェイク オン USB（Wake on USB）	Setting	チェックが有効の場合、USB 入力デバイス（マウスの操作やキーボードからキー入力）をトリガー, としてノートがスリープ状態から復帰します。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有（有効）	ノートのみ
☐ 電源管理（Power Control）	Setting	チェックが有効の場合、ノートはバッテリーの使用をインテリジェントに管理して企業の消費電力コストを抑える事を助ける IPM+などの電源管理アプリケーション（ピークシフト機能）をサポートします。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック無（無効）	ノートのみ
☐ Modern Standby	Setting	チェックが有効の場合、低消費電力スタンバイモードが有効になります。	チェック有（有効）	特定のノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.11 Remote Management Options メニュー (Intel のみ)

このサブメニューでは Intel Active Management Technology(AMT)のための設定を行います。

表 27 Remote Management Options メニューの機能

詳細設定（Advanced）->Remote Management Options				
機能	**タイプ**	**Description**	**Default**	**Notes**
☐ Active Management Technology (AMT)	Setting	チェックが有効の場合、AMT が有効になり AMT の各機能の設定が可能になります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> AMT	チェック有（有効）	Intel のみ
☐ USB Key Provisioning Support	Setting	チェックが有効の場合、USB フラッシュディスクを使用する AMT プロビジョニングが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> USB キープロビジョニング サポート 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	Intel のみ
☐ USB Redirection Support	Setting	チェックが有効の場合、USB ストレージのリダイレクトが有効になります。 注記: Intel® AMT が適切にプロビジョニング されているい必要があります。 2014 ノート and デスクトップ: 2015 新機能	チェック有（有効）	Intel のみ
Unconfigure AMT on Next Boot	One time action	適用した場合、次回起動時に AMT 構成がクリアされます。以下のアクションが選択可能です。 • Do Not Apply • Apply 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> 次回起動時に AMT を構成解除 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> Unconfigure AMT/ME	Do Not Apply	Intel のみ
SOL Terminal Emulation Mode	Setting	シリアルオーバーLAN (SOL) ターミナルエミュレーションのモードを指定します。以下の設定が選択可能です。 • ANSI • VT100 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> SOL ターミナル エミュレーションモード 2014 デスクトップ: 2015 新機能	ANSI	Intel のみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

☐ Show Unconfigure ME Confirmation Prompt	Setting	チェックが有効の場合、未構成の Intel® Management Engine に対する確認プロンプトが表示されます。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> Hide Unconfigure ME Confirmation Prompt	チェック有（有効）	Intel のみ
☐ Verbose Boot Messages	Setting	チェックが有効の場合、ブートメッセージに追加の情報が表示されます。 注記:AMT が無効の場合は利用できません。 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	チェック無（無効）	Intel のみ
☐ Watchdog Timer	Setting	チェックが有効の場合、ウォッチドッグ タイマーが有効になります。 2014 ノート:2015 新機能 2014 デスクトップ:カスタム ->管理操作 ->Watchdog Timer	チェック有（有効）	Intel のみ
OS Watchdog Timer (min.)	Setting	OS ウォッチドッグ タイマー（分）を設定します。以下の設定が選択可能です。 5、10、15、20、25 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> OS Watchdog Timer	5	Intel のみ
BIOS Watchdog Timer (min.)	Setting	BIOS ウォッチドッグ タイマー（分）を設定します。以下の設定が選択可能です。 5、10、15、20、25 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> BIOS Watchdog Timer	5	Intel のみ
CIRA Timeout (min.)	Setting	クライアントからのリモートアクセスのタイムアウト値を設定します。以下の設定が選択可能です。 1 min、2 mins、3 mins、4 mins、Never. 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> Intel CIRA の実行 2014 デスクトップ: 2015 新機能	1 min	Intel のみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

5.12 Host Based MAC Address メニュー(ノートのみ)

このサブメニューでは 2016 以降のモデルのノート PC で利用可能な Host Based MAC Address のための設定を行います。

表 28 Host Based MAC Address メニューの機能

詳細設定（Advanced）->Host Based MAC Address				
機能	**タイプ**	**Description**	**Default**	**Notes**
Host Based MAC Address	Setting	Disabled：Host Based MAC Address の機能を利用しません。 Sytem：システム（PC 本体）の MAC アドレスを使用します。 Custom：カスタム（任意に設定した）の MAC アドレスを使用します。	Disabled	2016 以降のノートのみ
MAC Address	Setting	カスタムの MAC アドレスを設定します。設定画面には Current Factory と Current System の MAC アドレスが表示されます。	Factory MAC Address	2016 以降のノートのみ
☐ Pre-boot HBMA Support	Setting	チェックが有効の場合、PXE ブートなどのプリブート環境で Host Based MAC Address（HBMA）が利用可能になります。	チェック有（有効） ただし Host Based MAC Address が有効になるまでグレーアウト	2016 以降のノートのみ
☐ Windows HBMA Support	Setting	チェックが有効の場合、Windows OS 環境で Host Based MAC Address（HBMA）が利用可能になります。	チェック有（有効） ただし Host Based MAC Address が有効になるまでグレーアウト	2016 以降のノートのみ
☐ Single NIC Operation (Disable All Other NICs when HBMA is active on one NIC)	Setting	チェックが有効の場合、Windows OS 環境で Host Based MAC Address（HBMA）が有効な NIC 以外の NIC を無効にします。この機能は PXE 環境には適用できません。	チェック無（無効） ただし Host Based MAC Address が有効になるまでグレーアウト	2016 以降のノートのみ
HBMA Priority List	Setting	どの Network Interface Card（NIC）をシステムの NIC として採用するかの優先度を変更します。		2016 以降のノートのみ

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

6 UEFI Drivers

メイン（Main）	セキュリティ（Security）	詳細設定（Advanced）	**UEFI ドライバー UEFI Drivers**	

HP Computer Setup

これにより、システムを再起動して他社製オプション ROM の管理アプリケーションを起動します。
このアプリケーションを直接起動するには、起動時に[f3]キーを押します。

他社製オプション ROM の管理（**3rd Party Option ROM Management**）

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

7 F10 メニュー以外の機能

以下の機能は BIOS によって制御されていますが F10 メニューからのオプションや設定はありません。

表 29 F10 メニュー以外の機能

機能	Description	Default	Notes
プライバシーパネル （Privacy Panel）	プライバシーパネルを搭載したノート PC では f2 キーでプライバシーパネルの機能の有効/無効を切り替える事ができます。 f3 キーで輝度の減少、f4 キーで輝度の増加が可能です。	Disabled	プライバシーパネルを搭載したノート のみ

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

8 コンピューターからの通知

8.1 はじめに

システムボード上の電源 LED は POST の間にエラーが発生した場合、特定のパターンで点滅します。それと同時に内蔵のスピーカーから特定のパターンのビープ音を鳴らします。

エラー通知は以下の方法で行われます。

- LED の点滅またはビープ音
- 以下の内容の画面上への通知
  - ポップアップ メッセージ（トースト通知）
  - イベント ログ
  - プリブート メッセージ（BIOS）
  - HP System Information への通知: (モーダル通知)

モーダルとはそれが表示されている間はメイン　ウィンドウを使用する事ができなくするグラフィックス制御の要素です。モーダル　ウィドウはサブウィンドウで、メインウィンドウに戻るためにユーザーの応答を必要とします。

トースト通知はモーダルではない通知で、自動終了するウィンドウを使用してユーザーに通知します。.

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

8.2 点滅とビープ コード

システムエラーの中には画面表示ができなくなるものがあります。システムは LED ライトの点滅コードによってエラーの情報を通知します。使用される LED ライトはノートまたはデスクトップによって異なります。コードは 連続的に提示されます。デスクトップでは、白色 LED の白色点滅の後に続く赤色点滅でシステムエラーを通知します。長短のビープ音 はそれぞれ赤色点滅と白色点滅に対応しています。以下の表は点滅コードに意味を説明します。

表 30 コンピューターの通知

ノート		デスクトップ		説明
Caps Lock と Num Lock の LED	**バッテリー LED**	**赤色 LED と長いビープ**	**白色 LED と短いビープ**	
2		2	2	BIOS のメインエリア (DXE)が破損していて且つリカバリーバイナリイメージが使用できない。
8		2	3	内蔵コントローラーのポリシーによってユーザーによるキーシーケンスの入力が求められている。 (SureStart 2.0)
	白とアンバーの点滅	2	4	内蔵コントローラーがブートブロックまたは DXE を回復しています。10 秒以上かかる場合があります。DXE イメージをロードしてビデオを回復するにはこのコードが必要です。(SureStart)
3		3	2	内蔵コントローラーが BIOS のメモリ初期化から戻るための待機中にタイムアウトしました。
4		3	3	内蔵コントローラーが BIOS のグラフィックス初期化から戻るための待機中にタイムアウトしました。
5		3	4	システムボードが電源障害を表示しました。
		3	5	CPU が検出されませんでした。
		3	6	CPU は有効にされた機能をサポートしていません。 （TXT の場合にのみに出ます）
7	1	5	2	内蔵コントローラーは有効なファームウェアを見つける事ができません。

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

8.3 ポップアップ メッセージ

USB タイプ C ポートに関するイベントについてはポップアップ（トースト）メッセージが表示されます。以下の表ではこれらのイベントについて説明します。.

表 31 ポップアップ メッセージ

イベント	コード	メッセージ	詳細
Power Adapter Accepted: Matches capabilities to charge while in Sx	1	Title: USB Type-C Connector Text: "For full performance, connect a higher capacity power adapter."	接続された電源アダプターはデバイスを動作させるための電力が足りません。このアダプターはデバイスがスリープモードまたは電源オフの時に充電するために使用する事ができます。
Power adapter rejected: Upstream power flow is not supported	2	Title: USB Type-C Connector Text: “Charging system via adapter plugged into the USB port is not supported.”	接続された電源アダプターはサポートされていない電力を必要としています。
Connected device requests more power than can be supplied	3	Title: USB Type-C Connector Text: “USB device requesting more power than system can provide.” *Display system charging capability*	システムが供給可能な電力を超える電力を必要とするデバイスが接続されています。
Balance downstream power for charging from Multiple USB ports	4, 5	Title: USB Type-C Connector Text: “Charging from multiple USB ports may have limited support.”	USB タイプ A ポートと USB タイプ C ポートの両方あるアダプター（または 2 つの USB タイプ C ポートのあるアダプター）が接続されましたが、システムは稼働中に両方のポートに対して給電する事ができません。
The attached dock cable is inadequate to handle the needed power load	6	Title: USB Connector Text: “For full performance, connect higher capacity USB cable to dock.” *Display capabilities of the cable*	接続したドックはシステムの稼働とバッテリーの充電を同時に行うのに適切ではありません。
Power adapter rejected: Provider and consumer mismatch	7	Title: USB Connector Text: “The power adapter is not compatible with this system.”	HP のシステムに対応していない（3rd パーティー品の）電源アダプターが接続されています。

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

9 付録 1

9.1 UEFI とは?

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) は起動中または起動プロセスの間にオペレーティングシステムとプラットフォームファームウェアの間のインターフェースを定義しています。BIOS と比べると UEFI はより多くの起動前のユーザーインターフェースをサポートしています。

The UEFI ネットワークスタックは、まだ従来の PXE 展開をサポートしながら より豊かなネットワークベース OS 展開環境の実装を可能にします。UEFI は IPv4 と IPv6 の両方をサポートします。加えて、セキュアブートのようなプラットフォームベンダーがプリブート環境でシステムを保護する OS に依存しないアプローチを実装することをサポートします。

HP ROM ベース セットアップ ユーティリティ (RBSU) 機能は追加の構成オプションによって UEFI インターフェースから利用できます。

9.2 はじめに

HP UEFI システム ユーティリティはシステム ROM に組み込まれています。UEFI システム ユーティリティで は以下のような広範囲の構成が可能です。

- システムデバイスとインストールオプションの構成
- システム機能の有効化と無効化
- システム情報の表示
- プライマリのブートコントローラまたはパーティションの選択
- メモリオプションの構成
- 組み込み UEFI シェルやインテリジェントプロビジョニングなどの他のプリブート環境の起動

9.3 UEFI の利点

- OS からのプラットフォームの分離と開発の分離
- モジュラードライバーモデルと CPU から独立したオプション ROM の包含
- モジュラーおよび拡張可能で OS ニュートラルな付加価値を提供
- OS ローダーは基盤となるハードウェアの変更と同じに保つ事ができます
- GPT パーティションの 2TB 以上のドライブをサポート

9.4 UEFI ブート プロセスの概要

UEFI インターフェースの目的は UEFI ドライバー、UEFI アプリケーションおよび UEFI OS ローダーを含む UEFI イメージで使用するための一般的なブート環境の抽象化を定義する事です。UEFI は、UEFI ドライバーと UEFI アプリケーションイメージを追加する事でプラットフォームファームウェアを拡張する事ができます。UEFI ドライバーと UEFI アプリケーションがローディングされるとそれらは全ての UEFI で定義された実行環境やブートサービスにアクセスします。

UEFI には 2 セットのサービスがあります。

- ブート サービス - UEFI アプリケーション (OS ローダーを含む) はデバイスへのアクセスやメモリの割り当てのためにブートサービスの機能を使用しなければなりません。これらのサービスは OS が実行するまでの間は利用する事ができません。
- ランタイム サービス – ランタイム サービスの主な目的はプラットフォームのハードウェア実装の重要でない部分を OS から抽象化する事です。

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.